

岡山市第六次総合計画の前期中期計画（素案）へのご意見募集（パブリックコメント）の結果について

1. 意見募集の概要

（1）意見募集期間

平成28年12月22日（木）～平成29年1月18日（水）

（2）閲覧場所

- ・総合計画課、行政資料室、各区役所、各支所・地域センター・市民サービスセンター、各公民館、各ふれあいセンター
- ・本市ホームページ

（3）意見提出方法

電子メール、ファクス、郵送、持参、本市ホームページ入力フォーム

（4）意見提出先

岡山市政策局総合計画課

2. 意見募集の結果

（1）意見提出者数 152（個人：150、団体：2）

<内訳（個人）>

年代	男性	女性	合計
20代	17	12	29
30代	12	3	15
40代	19	12	31
50代	35	9	44
60代	12	4	16
70代以上	4	10	14
不明	0	1	1
合計	99	51	150

（2）意見項目数 332

<内訳>

区分	意見項目数
計画全体	43
総論	22
分野別計画	238
区別計画	27
その他	2
合計	332

※同一意見提出者から複数項目にわたるご意見をいただいている場合があるため、意見提出者数と意見項目数は一致していません。

意見の概要と意見に対する市の考え方

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
計画全体（意見項目数：43）			
1	計画全体	人口減少が叫ばれているが、岡山市はそのことについてどういった対策をとろうとしているのか。中期的な計画なので具体的に示せないこともわかるが、いまいちわかりづらい。	本計画は目前に迫る人口減少社会への対応を最重要課題の一つとして策定しており、各政策を検討する際にも人口減少等に伴い生じる諸課題を整理した上で、子育て支援の充実、ワーク・ライフ・バランスの周知・啓発、移住・定住の促進等の対応方策を記載しています。
2	計画全体	長期的な計画にしては具体的でわかりやすいと思う。岡山県も同様な総合計画を策定しているが、岡山市の方がより具体的で、より身近な感じがする。あとは書いてあることを着実に実行してもらいたい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
3	計画全体	今後の岡山市の都市づくりのための基本となる目標ということで、各分野等よくまとめられており、岡山市の市政運営のための羅針盤となることに大いに期待している。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
4	計画全体	将来の都市ビジョンを描く際のたたき台として有効であると思う。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
5	計画全体	本計画が絵に描いた餅にならないよう、中でも早期に且つ低予算で着手できるものを順次具体化し実現してほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
6	計画全体	絵に描いた餅にならないよう着実に計画を実施してほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
7	計画全体	政令指定都市・岡山にふさわしい計画になっていると思う。計画に基づき、しっかりと取組を進めてもらいたい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
8	計画全体	人口の東京一極集中をなくし、各地方都市が活力を保持することはとても重要だと思う。この総合計画を基に岡山市もますます発展してほしいと思う。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
9	計画全体	計画も大切だが、何より実行することが大事。今後の具体的な施策の展開を期待している。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
10	計画全体	岡山市の将来にとって非常に重要な計画であり、構想等の実現に努力してほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
11	計画全体	分野別計画等、岡山市の政策が多岐にわたり書かれていてよくまとまっていると思う。各政策の成果指標の目標値を達成できるよう計画の進捗管理をしてもらいたい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
12	計画全体	区別の計画を本格的にページを割いて作っていることに感心した。北区をみると、全体の部分より少し具体的で分かりやすかった。今後どう実行していくかにかかっていると思う。着実に実行してほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
13	計画全体	時代の変化が激しく且つ早くなっている折、計画の権威に拘ることなく説明責任を果たしながら柔軟に調整しつつ、現実から乖離しないよう進めてほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
14	計画全体	計画作成で終わるのではなく、実効性が上がるようにしてほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
15	計画全体	実現に向けて頑張ってもらいたい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
16	計画全体	継続性のある計画を立案してほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。
17	計画全体	岡山市は他県に負けない素晴らしい特性があるので、積極的に本計画を推進してほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進捗管理を行います。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
18	計画全体	IoT、AIなど、情報技術の活用についても盛り込むべき。	最新の情報通信技術の活用については、本市においても十分意識しており、特に、ご指摘のIoT、AIについては、我々の生活を変えるツールとして様々な分野で活用が期待されているところ。これらの技術を活用した事業の実施が具体的にできれば、本計画の下位計画として来年度当初に策定する「岡山市情報化指針」のアクションプランに追加していきたいと考えています。
19	計画全体	図や表を挿入して視覚的にわかりやすくする工夫がなされており良いと思う。	今後も、市民の皆様によりわかりやすい計画づくりに努めます。
20	計画全体	吉備線LRT化や路面電車の岡山駅乗り入れなど、個人的に気になるが具体的にイメージできなかった政策についてこの計画を読んで非常に興味を持った。	今後も、市民の皆様によりわかりやすい計画づくりに努めます。
21	計画全体	人口減少社会への対応とは、人口減少しても成立する仕組みづくりのことだと思う。その中で、この計画があまりにも総花的すぎて市の体力的にどうなのか、また、この計画期間に何を切り捨て、特にどこに力を入れているのかわかりづらい。結局、岡山市は何を特徴にするのか。	長期構想の「都市づくりの基本目標」にお示しているように、「都市の躍動感を創出すること」、「住みやすさ」に磨きをかけること、「市民と行政がともに変えていく」ことを目標としたまちづくりを進めることとしています。
22	計画全体	せっかく作った長期計画が市長が変わるたびに作り直しにならぬよう望む。	本計画は、人口減少、少子高齢化をはじめとする、時代潮流や課題認識を整理した上で策定するものであり、今後、本計画に示した政策・施策展開の方向性に基づき、岡山市のまちづくりを進めていきます。
23	計画全体	参考資料との関係がもう少しわかりやすく見えれば良いと思う。	参考資料である成果指標と主な事務事業は、計画の実効性を確保するとともに、施策の方向性をよりよくご理解いただき、具体的にイメージできるよう記載しています。
24	計画全体	岡山市の特徴を生かしていくことが伝わる計画であるため、非常に興味を持った。課題がわかるグラフや数値があってわかりやすいが、政策目標の数値も具体的に示してくれるともっと伝わりやすかった。	各政策に掲げる取組の達成状況等を把握するため、政策ごとに複数の成果指標を設定し、記載しています。また、達成状況等については毎年度評価を行います。
25	計画全体	各政策による効果の判断基準がよくわからない。具体的な数値等の目標設定の記載がないが、政策の効果の良し悪しはどのように判断するのか。	各政策に掲げる取組の達成状況等を把握するため、政策ごとに複数の成果指標を設定し、記載しています。また、達成状況等については毎年度評価を行います。
26	計画全体	基準値、目標値が各政策に掲げられているが、岡山市の立ち位置がわからない。全国ではどうか、県内ではどうか、わかるものについては、全国〇位、県内〇位、あるいは全国平均等の数値を付記してほしい。	成果指標は、各政策に掲げる取組の達成状況等を把握するために設定するものであり、全国順位やその平均値等の記載はしませんが、計画の策定にあたっては、必要に応じて全国や県内の比較も行ったところであり、今後とも客観的な立ち位置を確認しながら施策を推進していきたいと考えています。
27	計画全体	成果指標で目標値を定めているが、数値だけを追い求めることのないよう、実際に市民のためになる事業を進めてもらいたい。	ご意見は、今後の事業実施や進行管理の参考とさせていただきます。
28	計画全体	各政策・施策の担当局(課)を明確にしているのは分かりやすいが、施策ごとの個別の課題解決や取組については、実際は複数の課にまたがる案件であり、縦割りで解決できないことも多い。計画全体として、部署間の横の連携を進めることを計画に入れるべきではないか。	「主な事務事業」欄には、当該事業の担当課が所属する局の名称を記載しています。多くの政策に、複数の局の名称が記載されているように、分野の枠を超えた連携のもと、施策を推進していきます。
29	計画全体	全体を通じて多岐にわたる計画と施策を展開され、多くの部署の方々が熱心に取り組んでいることが感じられた。施策毎の個別具体的な取組を担当する部署が1つのものが多く、もっと多くの部署が関係して事業を進めると良いのではないかと感じた。	「主な事務事業」欄には、当該事業の担当課が所属する局の名称を記載しています。多くの政策に、複数の局の名称が記載されているように、分野の枠を超えた連携のもと、施策を推進していきます。
30	計画全体	政策1～30の順番を速やかに改善してほしい。待機児童数が全国ワースト2位の岡山市において、筆頭にならざるをえない政策は「政策11(子育て)」であり、引き続き「政策12(健全育成、自立)」「政策13(女性・若者)」「政策14(学校教育)」「政策15(教育環境)」などの『次の世代(人)への投資』が最優先である。政策1～10は後回しにすべき。	中期計画は、長期構想に掲げる3つの将来都市像の実現に向けた施策展開を示すものであり、政策の順番は取組の優先順位を示すものではありません。次世代の育成は最重要課題の一つとして取り組んでいるところです。
31	計画全体	実にまとまった構成で非の打ちどころのない構想だと思うが、どこの都市も似たような構想ではないか。これだけ知名度の無い岡山市が大きな魅力を創出し誰もが誇れる都市を目指すためには、地域個性の深堀と、大きな課題こそ大きな魅力に転換できる要因課題であることの足場を見つめるべき。歴史、子育て、少子高齢化、環境エネルギー等について独自の対策を打ち立ててほしい。たとえばそれが大きすぎる方向性であってもやらないと目指せないと思う。実効性のある計画となることを期待している。	時代の変化や要請、市民の課題意識を踏まえつつ、岡山市固有の強みや特性をいかしながら、市民が愛着と誇りを持ち、未来へ躍動する都市の実現に向け、市民と行政が一体となって取り組んでいきたいと考えています。ご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
32	計画全体	長期構想にある「市民の課題意識」と「岡山市の強みと特性」から、岡山市が克服すべき課題の要因分析をすることによって、真の対策や魅力の発掘ができると思う。	長期構想では、時代の変化や要請、市民の課題意識、また岡山市固有の強みや特性を踏まえた上で、都市づくりの基本目標と将来都市像を定めています。今後とも、克服すべき課題を的確に把握しながら、基本目標の実現に向けて取り組んでいきます。
33	計画全体	このまま子どもが減っていき、高齢者が増加して、社会システムが成り立たなくなるのではないかと危惧している。まずは、人口減少に歯止めをかけること、それから、今までに作られた年金制度や医療保険制度、社会基盤などを見直して、人口減少に対応した社会システムへ転換していく必要があると思う。子どもたちが希望を持てる社会にしてみたい。	人口減少問題と少子高齢化への対応は、最も大きな課題であると認識しており、人口が減少する中においても、固有の強みや特性を最大限にいかしながら、活力があふれ、市民が愛着と誇りを持ち、未来へ躍動する都市の実現に向けて、さらなる発展と市民の満足度の向上をめざした都市づくりを進めます。ご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
34	計画全体	今後、岡山市の人口が減少していくことが見込まれる中で、持続的に岡山市が発展していくためには、これまでの政策方針を見直し、状況に即した事業を具体的に実施することが必要であり、この度、策定を進めている中期計画は、これからの岡山市にとって大きな位置付けになると考える。岡山市は、市域も広大であり、地域性も多様であることから、中心市街地と周辺地域のバランスのとれた施策を実施することが必要であり、その点からも、各区役所が主体となって事業を進められる体制の整備が必要であるとする。実効性のある計画となることを期待している。	区別計画では、各区に特徴的な課題に対応し、区の特性をいかしたまちづくりを進めるため、区で重点的に推進すべき施策や市民生活に密着した施策を抽出して記載しています。ご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。区役所の体制については、関係部局と十分協議しながら、適切な執行体制となるよう努めていきたいと考えています。
35	計画全体	この計画を10年かけて実施していくことになるが、肝心の岡山市の財政の実態と計画が書かれていない。財政問題は市民にとって大きな負担であり、現在の財政の実態として損益計算書と貸借対照表の情報公開をお願いしたい。さらに、関連公社等の連結決算と明細書も添付してもらいたい。	財政状況の公表については、毎年度の決算確定後に「岡山市の財政状況」をホームページ等に公表し、各種財政指標の動向や今後の収支見通し等をお示しているところです。また、平成28年度決算から、全国一律のルールに基づく新公会計制度により作成した財務諸表を公開していく予定としています。関連公社等については、地方自治法施行令第152条第1項の規定に該当する法人(本市の場合、本市から25%出資している法人、岡山市土地開発公社)から、決算に関する書類を入手し、例年6月議会において、議会・市民へ公表しています。また、社会経済情勢の変化等により目的が希薄化した団体は解散するなど、適宜見直しを図っており、今後とも市に大きな財政負担が生じないよう、必要に応じて外郭団体の見直しを継続していきます。
36	計画全体	計画の実施にあたっては、掛け声だけにしないよう体制と予算を伴ったものとしてほしい。一方で、生産年齢人口は減少し、人口も将来的には減少する見通しとなっているため、支出の抑制や新たな収入の確保など、継続して発展できるよう配慮してほしい。	ご意見を参考に、事業の選択と集中や徹底した無駄の排除、有利な財源の活用、新たな歳入確保策等により必要な財源を捻出し、将来世代に負担を先送りすることなく財政運営の健全性を確保していきます。
37	計画全体	計画を着実に推進するためには財政的裏付けが担保されていることが重要である。	毎年度の予算編成を通じて、市民ニーズや社会経済情勢の変化に的確に対応しながら事業化を図り、着実に計画を推進していきたいと考えています。
38	計画全体	計画を実行あるものにするためには実践が大切。予算や人員、民間の活用など、やりくりと工夫で実行体制を確保してほしい。	政策30では、健全で持続可能な財政運営、民間活力の活用、組織力の向上を盛り込んでおり、様々な工夫を重ねながら、計画を着実に推進していきます。
39	計画全体	書いてあることに異論はない。実現に向けて頑張ってもらいたい。強いて言えば、全体の優先順位や分野ごとのメリハリがわかるともっと良くなるのではないかな。	中期計画は、長期構想の実現のための具体的な施策展開をお示しており、長期構想策定時に重視した、「人口減少問題や少子高齢化への対応」や「岡山らしさの発揮と発信」等の視点を大切にしながら、構想で定めた「3つの将来都市像」と「都市づくりの10の基本方向」に沿って、全体を組み立てています。今後、毎年度の予算編成を通じて、市民ニーズや社会経済情勢の変化に的確に対応しながら重点化を図り、着実に計画を推進していきたいと考えています。
40	計画全体	総合計画という性格上、総花的な内容となっているのはやむを得ないところであるが、資料を読む人に何を訴えたいか絞って強調するような工夫を盛り込めばより一層良くなるのではないかな。	長期構想では、「都市づくりの基本目標」や「3つの将来都市像」、「都市づくりの10の基本方向」をお示しし、中期計画では、長期構想を実現するための具体的な施策展開を「3つの将来都市像」、「都市づくりの10の基本方向」に沿って体系的・網羅的に整理しています。ご意見は、計画冊子作成の参考とさせていただきます。
41	計画全体	岡山市は県都であり、また政令指定都市でもあるので、この計画を推進することはもとより、県下全体の発展のために尽力してほしい。	長期構想では、「中四国をリードし、活力と創造性あふれる『経済・交流都市』」を将来都市像の一つとし、圏域全体の発展をリードする拠点都市を目指すこととしています。また、中期計画の政策29では、周辺市町と連携して圏域全体の持続的な発展をめざすことを記載しています。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
42	計画全体	コンパクトシティを目指す必要性があることは認識しているが、計画全体の中で地域拠点の具体性がないように思う。地域拠点を活性化させるには区の役割が重要と考えるが、そのビジョンが見えないように思う。	総論の「将来の都市の形」では、コンパクトでネットワーク化された都市構造のイメージをお示しており、他方、区別計画では、区の特性をいかした区民と協働で進める地域づくりの方向性等を記載しています。 都市拠点、地域拠点等の拠点機能の充実と活性化については、今後、様々な施策と連携した検討を進める予定です。
43	計画全体	多少の変化はあるものの、前回の「岡山市都市ビジョン」のリメイクの部分が多いと感じた。例えば、政策1の項目は「岡山市都市ビジョン」とよく似ていると感じた。	本計画は、都市ビジョンの理念を引き継ぎながら、住みやすさに一層の磨きをかけるとともに、未来志向の躍動感のあるまちづくりを進めるために策定しています。 分野別計画では「現状と課題」を記載するなど、全般的によりわかりやすく、丁寧な記述に努めました。 また、区別計画についても、「施策展開の方向性」を盛り込むなど、大幅に充実した内容としています。
総論（意見項目数：22）			
44	総論	「計画の期間」の4行目に「年度」が抜けている箇所があるので修正されたい。	ご意見を踏まえて記載内容を修正します。
45	総論	「計画の期間」に「なお、前期中期計画に続く後期中期計画（計画期間は平成33（2021）から平成37（2025）年度までの5年間）については・・・」とあるが、ほかの記載に合わせて「平成33（2021）年度から・・・と『年度』を加えた方が良いと思う。	ご意見を踏まえて記載内容を修正します。
46	総論	PDCAサイクルのCheckに関して、数値目標の立たない政策の評価基準がわからないため、より多くの人々が理解、納得できる項目があれば良いと思う。わからない基準のままOKが出て次へ行くのは気になる。	各政策に掲げる取組の進捗状況を把握するため、政策ごとに複数成果指標を設定し、記載しています。また、達成状況等については毎年度評価を行います。
47	総論	計画が絵に描いた餅に終わらないようPDCAをしっかりとやってほしい。	計画の記載内容を着実に実行できるよう、しっかりと進行管理を行います。
48	総論	「成果指標を設定し・・・達成度を毎年度評価し、公表します」とあるが、成果指標は目標値と考えられる。成果指標と取組や事務業務との因果関係を明確にしておかないと業務の効果は測れないため、因果関係を明確にしておいてほしい。また、達成できない場合は、その理由を明確にし、その改善策も公表してほしい。	成果指標は、全ての政策に複数の指標を設定し、進行管理を行うこととしています。ご意見は、今後の進行管理の参考とさせていただきます。
49	総論	高齢者人口比率は増加の一途を辿るが、高齢者人口の推移が分からないと対策をとることが難しいため、高齢者人口の推移を地域ごとに明確に明示した方が良いと思う。地域によっては、高齢者人口が減少（本格的な人口減少社会、子どもと高齢者の減少）していくところもあると思う。	今後、具体的な施策を展開するにあたっては、高齢者人口等の地域ごとの特性や課題も踏まえながら取り組んでいきたいと考えています。
50	総論	「将来の都市の形」については、岡山市の想いを述べるより以前に、グローバルレベルで変化していく社会の姿を速やかに描き出すことが重要である。ビットコインが流通し、AIが主役になる産業やロボットに代替される職業、自動運転車が劇的に変える公共交通機関の形など、すでに起こっている雇用形態の変遷に備えつつ、柔軟に対応できるグランドデザインの創作が急がれる。岡山市の魅力を上昇させる主たる要素は、ハコモノや鉄モノ、回遊実験モノや、ましてや芸術交流モノではなく、この地に暮らす次の世代。子育て・教育、待機児童の解消、児童の貧困問題の撲滅を最優先政策として今すぐ取り組まれることを切にお願いしたい。	長期構想では、グローバルな視野に立った施策の展開が求められていることを時代の潮流と課題認識としてお示しています。「将来の都市の形」は、コンパクトでネットワーク化された都市構造のイメージを示したものです。 待機児童対策をはじめとする子育て環境の整備等は、重点的に取り組むべき施策と位置づけしており、長期構想で将来都市像の1つとした「子育て・教育都市」の実現に向けた施策の方向性を分野別計画にお示しています。
51	総論	方向性1の＜拠点の種類と役割＞のうち、「都市拠点」の定義が少し分かりにくい。具体的には、商業施設と医療施設について、「地域拠点」のそれとの区別があいまいのように感じる。あくまでイメージとして捉えるのが妥当なのか。	総論の「将来の都市の形」は、コンパクトでネットワーク化された都市構造のイメージを示したものであり、都市拠点、地域拠点等の拠点機能の充実等については、今後、様々な施策と連携した検討を進める予定です。
52	総論	マスケット型都市構造について、中区の岡山ふれあいセンターは拠点としての位置付けがされていないことから、地区の施設として位置付けされると解されるため、今後、区全域への対応機能は拠点に集約するというを明確にしてほしい。	総論の「将来の都市の形」は、コンパクトでネットワーク化された都市構造のイメージを示したものであり、拠点機能の充実等については、今後、様々な施策と連携した検討を進める予定です。
53	総論	岡山市の目指すコンパクトでネットワーク化された都市～マスケット型都市構造～の構築は、人口減少時代において的を得た適切な方向性だと思う。ただ「都市拠点」は抽象的であり、今後その場所等の具体化が必要ではないか。また、区別計画との整合性において、特に区の拠点（区役所中心？）との関係を明確にする必要があると思う。	総論の「将来の都市の形」は、コンパクトでネットワーク化された都市構造のイメージを示したものであり、都市拠点、地域拠点等の拠点機能の充実等については、今後、様々な施策と連携した検討を進める予定です。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
54	総論	「マスクット型都市構造」のイメージ図は分かりやすく良いと思うが、方向性1、2などに示されている都市の形を実現すべく、分野別計画や区別計画の「施策の方向性」の中身がうまくリンクしているのか。あるいは各計画が、そうした将来の都市の形(都心、都市拠点、地域拠点の3層構造のような)を骨格として組み立てられているのか、少しわかりづらい。	総論の「将来の都市の形」は、コンパクトでネットワーク化された都市構造のイメージを示したものであり、都市拠点、地域拠点等の拠点機能の充実等については、今後、様々な施策と連携した検討を進める予定です。
55	総論	「コンパクトでネットワーク化された都市づくり」に関する表現には努力の跡が感じられる。	今後は、より一層市民の皆様へ考えが浸透し、理解が得られるよう周知に努めていきます。
56	総論	コンパクトシティ構想は大賛成。高齢者にとって大きな道路をまたぐことのないよう、日常生活ができることがいいと思う。電動車椅子、シルバーカー利用者がひと信号で渡れるように配慮してほしい。	信号機の制御時間の調整は公安委員会が行っていますが、幹線道路等、大きな道路を横断する信号交差点については、利用者が安全に通行できる信号時間を確保するよう、今後とも、警察と調整を行っていきたくと考えています。
57	総論	「マスクット型都市構造」というのは、無理に岡山特産のマスクットに結びつけたように感じるが、一般に使われている用語なのか。	周辺の各地域が特性をいかして一粒一粒の充実した実をつけ、各々の実が有機的な連携により補完し合い、房全体でさらに躍動・成長する将来の都市の姿が、岡山特産のマスクットとイメージが重なることから「マスクット型都市構造」と表現しています。一般的には、クラスター(房)型都市構造と言われています。
58	総論	マスクット型都市構造の推進は良いことだと思う。	今後は、より一層市民の皆様へ考えが浸透し、理解が得られるよう周知に努めていきます。
59	総論	マスクット型の都市について、コンパクトシティは全国でも成功例が少ないと総務省の評価にあったが、計画ではコンパクトシティについてあまり具体的には触れないのか。	コンパクトシティの具体的な内容については、今後、検討を進める予定です。
60	総論	マスクット型都市構造について、環状軸を交通連携軸として位置付け、公共交通サービス導入の検討が必要と考える。	内・中・外の環状道路を位置づけて道路整備を進めていますが、今後都市づくりを進めていく中で、周辺地域の拠点間において、交通需要が増えるようになれば、公共交通の導入について検討していきたくと考えています。
61	総論	マスクット型都市構造に賛成。その上で、各拠点については、「中心部」、「准中心部」、「郊外」とエリアを分けて、中心部には、商店、医院、銀行、郵便局、公民館、警察、消防等を、准中心部には、民家、学校園、介護施設、会社等を、郊外には、田・畑(民家)、会社等を集積させていくべき。また、拠点内を安価で巡れるバスを整備してはどうか。	具体的な施策の内容については、ご意見も参考にしながら、今後、検討を進める予定です。また、交通については、都心部と周辺地域の各拠点が利便性の高い公共交通等で結ばれるとともに、周辺地域では、各拠点を中心に生活交通等が確保されるなど、地域特性に応じた交通ネットワークを構築していきたくと考えています。
62	総論	市域を均衡的に発展させる必要があるのか。投資は大事だが、人が少なくなる地域に対しては、投資にならないよう、限りある資源をメリハリをつけて整備に使ってほしい。	今後、人口減少や少子高齢化が進行する中において、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていきたくできる地域づくりを進めていくことが必要と考えており、ご意見も参考にしながら、持続可能で活力ある地域づくりを進めていきたくと考えています。
63	総論	第一次ベビーブームの人たちは、右肩上がり、拡大基調の良い時代を生きてこられて良かったと思うが、良い意味でも悪い意味でも、僕たちはこれからあなた方のツケを払うことになる。新幹線を作り直すお金はあるか。高速道路や橋を作り直すお金はあるか。そういう意味で、身の丈に合ったコンパクトなまちにしていくことは大事なことだと思う。	公共施設等の適切な管理、計画的・効率的な修繕・更新等を行い、長期的な視点で、財政負担の平準化を図り、市民の安全・安心を確保し、必要なサービスを将来にわたって持続的に提供していきたくと考えています。
64	総論	地域は、人と施設(モノ)の有機的な融合であると考えているが、地域を支えるのは結局人であるので 将来の都市の形として、人の教育にスポットを当てる必要があると考える。	分野別計画の政策13(女性や若者が活躍できる社会づくり)、政策14(知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成)、政策17(多様な主体による協働のまちづくり)をはじめ、分野別計画の各政策に次代を担う人材の育成に関する具体的な取組をお示ししています。
65	総論	総論では岡山市の観光について触れられていないが、触れるべきだと思う。	総論の「将来の都市の形」に、周辺市町や国内外の他都市との交流・連携についても記載しているところですが、分野別の具体的な内容については、分野別計画(観光は政策4)に記載することとしています。
分野別計画 (意見項目数:238)			
66	分野別	全体	各政策は、「現状と課題」、「施策の方向性」、「参考資料」で構成されているが、成果指標と主な事務事業は参考資料とされている。参考資料の内容は前期中期計画そのものなのか付随資料なのかの説明を記載して明確にすべき。
			成果指標と主な事務事業は、計画の実効性を確保するとともに、施策の方向性をよりよくご理解いただき、具体的にイメージできるよう記載しています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
67	分野別	政策1	現状と課題に記載された内容に賛同する。特に人材流出と地域内需要の減少は深刻な事態であり、市内企業の大半を占める中小企業・小規模事業者の経営力向上と若者の働く場の確保は、岡山市の地域経済はもちろん、コミュニティそのものの存続にとっても重要な課題であると考えます。	いただいたご意見を参考に、産業振興施策を推進していきます。
68	分野別	政策1	産業分野においても選択と集中は必要。ポテンシャルとインフラをいかしたヘルスケア産業の振興をより一層進めてもらいたい。成果を期待している。	本市の強みである医療・介護資源等の蓄積をいかしたヘルスケア産業の創出・育成に、より一層取り組んでいきます。
69	分野別	政策1	「ニーズが高い事務系職種をはじめとした雇用を創出していく」とあるが、このニーズは、労働者側・事業者側どちらの視点で書かれているのか。通常であれば、事業者側(雇い主側)の視点も取り入れるべきではないか。事業者側は事務系職種の採用に積極的なのか。	本市の有効求人倍率をみると、事務系職種は1倍を下回っており、事務系の雇用先を確保することが必要であると考えています。このため、これまでの工場誘致に加え、企業の本社機能や中四国支店等の広域的営業拠点の立地促進にも取り組んでいるところです。
70	分野別	政策1	東京一極集中が進んでいるため、もっと企業誘致をして欲しい。	優れた広域拠点性や自然災害の少なさなど、本市の立地環境の優位性をいかし、より一層企業立地を推進していきます。
71	分野別	政策1	交通の利便性、災害の少なさなど、岡山市は企業立地におけるアドバンテージは有していると思う。用地等に関する制度的な問題等はあると思うが、積極的に企業立地を進めてほしい。	優れた広域拠点性や自然災害の少なさなど、本市の立地環境の優位性をいかし、より一層企業立地を推進していきます。
72	分野別	政策1	企業立地は製造業だけでなく、交通の結節性を活かした流通・倉庫・加工の誘致にも重点を置くべきと考える。	交通の結節点であるという立地環境の優位性をいかし、製造工場のほか、物流施設、データセンター、企業の本社機能や中四国支店等の広域的営業拠点の誘致に取り組んでいるところであり、物流施設については、公的団地への誘致を行っています。
73	分野別	政策1	企業立地の推進について、立地企業はできるだけ岡山市内・岡山県内で設備・原材料・サービス・雇用を調達するなどの努力をすることについて明記してほしい。行政の調達についても同様である。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
74	分野別	政策1	主婦・子育て世代の就業支援や、第二新卒・前期高齢者の就業支援などについての施策があれば記載してほしい。	本市では、結婚や出産・育児等により離職した女性に対する再就職支援を行っており、政策13の施策①に記載しています。また、第二新卒等の若者の就職支援として、合同企業説明会や就業体験等の雇用対策事業を、高齢者の生きがいや社会貢献への支援として、シルバー人材センター事業や生涯現役社会づくり事業を実施しており、それぞれ政策1の施策④、政策20の施策②に記載しています。
75	分野別	政策2	様々な利害関係が存在すると思うが、長期的視野に立って計画を推進して欲しい。特に、魅力と賑わいのある中心市街地の創出に期待している。	いただいたご意見も参考に、魅力と賑わいのある中心市街地の創出に取り組んでいきます。
76	分野別	政策2	西川は若者が集うことで今後の賑わいを期待している。一方、旭川は全年齢層、特に高齢者の集える場として整備することを盛り込んでほしい。	特定の世代に限ることなく賑わいの創出を図りたいと考えていますが、特色ある魅力づくりを進める上で参考とさせていただきます。
77	分野別	政策2	西川緑道公園で行われていた歩行者天国に行ったことがあるが、とても雰囲気良かったため、今後も続けてほしいと思う。	市民主体の実行委員会を設立し、今後も良質な賑わいづくりを継続して行っていきたいと考えています。
78	分野別	政策2	歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくりについて、家族向け、学生向けなど、対象世代別の提案をつくるというのではないかと思います。	まちなかの魅力と賑わいづくりでは、幅広い世代の方々がまち歩きを楽しめるように取り組んでいきたいと考えています。例えば、西川緑道公園筋歩行者天国の企画の中では、家族向けのイベントも検討しており、今後、いろいろなテーマでの開催も進めていきたいと考えています。
79	分野別	政策2	中心市街地の賑わいの創出という点で、シティライストジアムも念頭に入れるのが良いと思う。同スタジアムを本拠地とするフジアーノ岡山の影響力が年々大きくなっていると感じることが理由。	フジアーノ岡山への支援については、政策10の施策①に盛り込んでおり、引き続き一層の支援をしていくなど、いただいたご意見は、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
80	分野別	政策2	中心市街地であるJR岡山駅周辺エリアについて、東口側と西口側では賑わいに差があるように感じる。西口側の発展も特に図る必要があるのではないかと思います。	政策2では、岡山駅西口を含む中心市街地全体の取組を記載しており、引き続き、駅西口に立地する奉還町商店街等の商業振興施策の推進に取り組むなど、いただいたご意見は、今後、事業を実施する上での参考とさせていただきます。
81	分野別	政策2	施策①の「旭川さくらみち歩行者空間の整備」に賛同する。その上で、堤防川側への拡幅はできないので、東側への拡幅を希望する。知事公舎跡地など更地化建替が進む今は、拡幅用地確保の好機であり、最終的には車道を東側へシフトし、川側へ広幅歩道が整備されるよう事業化することを明らかにしてほしい。	旭川さくらみちの東側において拡幅のための用地確保は困難と考えています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
82	分野別	政策2	西川周辺、旭川周辺等のイベント開催は、賑わいづくりに良いと思うが、開催日時や場所等の広報について、TV・雑誌を活用するなど、もっと力を入れてもよいのではないかと。	ご提案については、広報活動をしていく上での参考とさせていただきます。
83	分野別	政策2 政策7	政策2の施策②、政策7の施策②など、西川緑道公園等の賑わいづくりや魅力アップを進めようとする中で、行政側と市民側がそれぞれのグランドデザインを描く段階から話し合いを進めるなど、結論ありきではない本質的な協働により、計画・実施を進めることで、市民団体(受け皿)の育成につながるのではないかと。	西川緑道公園等のまちなかの賑わいや魅力づくりに向けては、市民の方々と話し合いを十分に行い、連携・協働しながら取組を進めていきます。
84	分野別	政策2	まちなかの賑わいにつなげるため、社会実験の成果を踏まえつつ道路を整備し、公共交通の利便性を図る、とあるが、ハード整備だけでは賑わいにつながらないのではないかと。	まちなかの回遊性に重要な県庁通りでは、歩いて楽しい道路空間づくりをすべく、1車線化に向けて取組を進めており、併せて、沿道事業者や地域の方々と一緒に沿道の魅力あるまちづくりを考えていきます。
85	分野別	政策2	中心市街地に自家用車で来街する仕組みではなく、路面電車やバスで来街することがノーマルになるような街づくりをしてほしい。街中に車が走らない、歩いて楽しい、歩いて快適・気持ちいい街づくりをしてほしい。	「歩いて楽しいまちづくり」を目指し、各種施策に取り組んでいます。
86	分野別	政策2	路面電車の駅前広場乗り入れには反対。ほんの数百メートル起点が伸びたからといって利便性が効果的に上がるとは思えない。逆に駅前が混雑し危険になると思う。それより、電車の起点までを駅前広場としてどのように繋げ、活かしていくかを考える方が有効だと思う。	路面電車の岡山駅前広場乗り入れは、公共交通の利便性の向上、さらには中心市街地の回遊性の向上を目的として検討しているところです。 路面電車の乗り入れの検討において、平面乗り入れと併せて、駅と現在の駅前電停を繋ぐデッキ直線形、デッキ円形等を検討しましたが、懸念されていた駅前交差点が交通処理可能であることや、地下街への影響等の技術的課題に一定の整理ができたことから、昨年度、コストや費用対効果でも優位であり、路面電車との乗り換え距離が短縮するとともに利用者の安全性が向上する平面乗り入れを計画案としてお示したところです。
87	分野別	政策2	「路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ等により・・・」という記述があるが、路面電車の利便性を高める方法としては、駅前広場への乗り入れよりも、利用可能範囲を拡大させるほうが有効であると思う。	公共交通ネットワークの要となる岡山駅での交通結節点機能の向上は、最重点課題の一つであると考えています。 このため、公共交通ネットワークの一つである路面電車についても、まずは駅前広場への乗り入れによって乗り換えの利便性向上を図るとともに、乗り入れを含めた駅前広場の改善を進める必要があると考えています。 その後の延伸・新規路線の拡充等については、土地利用の動向や交通の状況等を見ながら検討を進めるものと考えています。
88	分野別	政策2	路面電車の岡山駅乗り入れは必要。まずは、城下～番町線の往復、延伸を組み入れてほしい(P35～37とも関係)。	今後の高齢社会の進展を見据えると、公共交通の充実が本市にとって大変重要な課題であり、各交通機関を維持するとともに、さらなる充実を図る必要があると考えています。中でも、公共交通ネットワークの要となる岡山駅での交通結節点機能の向上は、最重点課題の一つであると考えています。 このため、公共交通ネットワークの一つである路面電車についても、まずは駅前広場への乗り入れによって乗り換えの利便性向上を図るとともに、乗り入れを含めた駅前広場の改善を進める必要があると考えています。 その後の延伸・新規路線の拡充等については、土地利用の動向や交通の状況等を見ながら検討を進めるものと考えています。
89	分野別	政策2	賑わいにつながる回遊性の向上のための取組として、自転車と路面電車のことしか書かれていないが、一番重要なのはバス路線の充実だと思う。女性や高齢者は自転車ではまちなかに出かけない。買い物や荷物も自転車では運べないし、オシャレな服で自転車には乗れない。バス路線が充実している街は、子ども連れや高齢者がたくさんバスを利用して回遊している。賑わいにつながる回遊性の向上を図るのであれば、もっとバス路線の充実を力を入れてほしい。	バス路線の充実を含め、今後の公共交通ネットワークについては、現在進めている新たな総合交通計画の検討の中で、学識者や市民、交通事業者等と議論していきたいと考えています。
90	分野別	政策2 政策6	バスロケーションシステムなど、バス利用環境の改善を早く行い、市民生活・観光客の利便性を向上させてほしい。	バスロケーションシステムについては、路線バスの利用促進策の一つとして、現在、事業者とともに導入に向けた取組を進めているところです。 その他にも、バス利用環境の改善に向けて、サイクル&バスライドなどの各種施策に取り組んでいるところです。
91	分野別	政策2	イオンモール岡山の開業による来街者増加は歓迎すべきことだが、消費者のニーズがほぼワンストップで充足してしまうことで、表町商店街等の疲弊に繋がっている。東西の動線確保や消費者のインセンティブ誘導によって、施策に盛り込まれた「賑わいにつながる回遊性の向上」を是非推進してほしい。	まちなかの回遊性に重要な県庁通りでは、歩いて楽しい道路空間づくりをすべく、1車線化に向けて取組を進めており、併せて、沿道事業者や地域の方々と一緒に沿道の魅力あるまちづくりを考えていきます。 また、今後も商業振興施策を推進していきます。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
92	分野別	政策2	人通りの多い「通り」に限定した出店支援、既存店への支援があっても良いのでは。歩行者天国等の実験も行われているので、まちづくりの観点から活性化させる「通り」があっても良いのでは。行きたい店があれば必然的に人通りが増え、そういった「通り」が、駅や商店街をはじめとした商業施設を結び合えば回遊性にもつながると思う。	いただいたご意見を参考にしながら、様々な支援のあり方を研究していきます。また、西川緑道公園筋では市民主体による歩行者天国の定期開催を進めています。まちなかの回遊性に重要な県庁通りでは、歩いて楽しい道路空間づくりをすべく、1車線化に向けて取組を進めており、併せて、沿道事業者や地域の方々と一緒に沿道の魅力あるまちづくりを考えていきます。
93	分野別	政策2	商店街の振興も大事だが、商店街から少し外れているエリアへの支援を行い、商店街のまわりから活性化していく手段もあるのではないかと。	商店街のみならず、周辺地域も含めた地域商業の活性化に取り組んでいきます。
94	分野別	政策2	他県の中心市街地にある商店街の店舗を見ると、賑わいづくりに飲食店の存在が必要ではないかと感じる。業種を絞った支援も必要なのではないかと。	いただいたご意見を参考にしながら、様々な支援のあり方を研究していきます。
95	分野別	政策2	中心市街地の回遊性向上を図ることに賛成。しかし、イオンモールの誘致により、表町界隈だけでなく、駅前商店街が寂れたのではないかと考える。イオンモールの中にある首都圏資本の商店の賑わいに比べ、地元商店がどんどん閉店している。これが本当に岡山市の発展といえるのか疑問だ。地元商店、企業が生き生きとする施策を希望する。	商店街の魅力向上に向けて、引き続き商業振興施策を推進していきます。
96	分野別	政策2	商店街の空き店舗問題は家賃が相場より高いことにも原因があるのではないかと。 (例) 表町1階・・・築53年 24.16坪 1.1175万円/坪 表町2階・・・築45年 24.68坪 0.5065万円/坪 奉還町1階・・・54年 17.60坪 0.4261万円/坪	空き店舗問題が解消されない理由は様々であり、家賃相場もその一つと考えます。空き店舗の解消に向け、どのような取組が有効か研究していきます。
97	分野別	政策2	施策③では、安全・安心や防犯設備等のハード面の整備よりも、コンテンツを重視したソフト面の支援策の方が有効ではないかと。ハード面の整備は現状でもさほどの不満はないように思われる。	アーケード等の設備は、設置後、数十年を経たものも多く、今後はこうした設備の更新も必要となってくることから、ソフト・ハード両面での支援に努めていきます。
98	分野別	政策2	施策④について、現在、商業地域となっている都心エリアに多くの高層マンションが建ち並び、本来の都市開発計画とはかけ離れた状況となっている。一方で逆に、古くからの住宅が密集する地域が商業地域に指定されている。また第1種低層住居専用地域以外が建物の高さに対する規制もないため、周辺の住宅環境に不釣り合いな高層マンションが無秩序に林立している地域もある。こうした地域では、何世代にもわたって市内に定住し暮らしてきた世帯が、住環境の激変により移転を余儀なくされる例も少なからず存在する。そもそも自分が暮らす地域がどのような用途地域に該当するかを知らない市民も少なくない。市民に対する用途地域とその根拠の説明・見直しも含め、政策7と合わせて、そこに住まう市民の快適な暮らしに立脚した施策をお願いしたい。	具体的な施策の内容については、いただいたご意見も参考にしながら、今後、検討を進める予定です。
99	分野別	政策2	中心市街地には古いビルや駐車場が多い。中心市街地活性化のため、所有者が新しいビルを建てたいと思うインセンティブになるよう、容積率を広島市と同じかそれ以上になるようにしてほしい。	具体的な施策の内容については、いただいたご意見も参考にしながら、今後、検討を進める予定です。
100	分野別	政策2	都会に憧れているのもっと都会にしてほしい。	商業、文化、医療をはじめとする高次都市機構の充実・強化や移動手段の利便性向上に努めていきます。
101	分野別	政策3	世代交代等(親の死亡等)により農業をやめてしまうケースが多くみられるので、継続的に農業が営めるような制度設計も検討してほしい。	新規就農者へのサポートや農業者に対する経営支援など、継続的に農業が営める環境整備に向けた様々な事業を実施していきます。
102	分野別	政策3	経営改善に取り組む意欲ある農業者が中心となって、岡山市の農業を発展的な方向に引っ張っていくことがこれからはますます重要になると考える。	農業を持続的に発展させるためには、専業農家をはじめ、意欲ある農業者が「儲かる農業」を実現していくことが重要であり、その環境整備に向けて事業を実施していきます。
103	分野別	政策3	農業、林業、水産業は、人間が生きていく上で基本となる食料に直接かかわるものであり、環境問題にもつながる。国の政策にもよると思うが、しっかり取り組んでほしい。	食の供給や多面的機能の発揮による環境の保全是、農林水産業の持つ重要な役割であり、そういった効果が引き続き維持されるよう農林水産業の振興に取り組んでいきます。
104	分野別	政策3	岡山市の米の消費量は、県庁所在地で最下位になっている(総務省家計調査H25～27年平均)。この現状を踏まえ、保育園・小中学校での給食の食材に市内産の米を積極的に導入し、米の消費拡大を図ってはどうか。	岡山市立の小・中学校の中で完全給食を実施している学校では、週3回米飯給食を実施し、市内産の米を100%購入しています。今後も、米の消費拡大を含め、市内産農産物の消費拡大を図る地産地消を進めていきます。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
105	分野別	政策3	中央卸売市場の空き店舗(ふくふく通り)が増加しているため、この対策を加えてほしい。出店の手続きが非常に煩雑なため、出店しやすいように簡素化できないものだろうか。	政策3の施策③では、地産地消の推進に関することを記載しており、関連商品売場棟の空き店舗対策とは直接の関係がないことから本計画には記載しませんが、いただいたご意見は、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
106	分野別	政策4	国内外の人を惹きつける観光・交流の推進は是非進めていってほしい。	計画に記載した内容の実現に向けて、着実に施策・事業を推進していきます。
107	分野別	政策4	政策4の内容は、私共が関西から傳いて来た80年前からの囑望として野望であったが、中々、自分の思うがまま達成しない事にはがゆさと悲しさがある。ぜひこの度の素案を卓上のものだけでなく、充分思考された上で実現される事を望んでいる。	広域交通の結節点としての交通利便性や、既存の魅力ある観光資源をいかし、近隣市町と連携を図りながら、計画に記載した内容の実現に向け、着実に施策・事業を推進していきます。
108	分野別	政策4	観光客や留学生が増加している中で、受入体制を整備することに力を入れている岡山市の政策は非常に重要で必要なことだと感じる。一方で、最近、岡山駅付近の外国人による募金活動も気になるため、治安維持活動の強化にも力を入れる必要があると思う。	外国人に限らず、社会秩序を乱す行為が行われないよう、県警と連携し、地域防犯力の強化に取り組んでいきます。
109	分野別	政策4	「桃太郎のまち」としてもっと知名度を上げる為には、岡山駅へ降り立った時に、「ここは桃太郎のまちだ」と視覚的に印象づけるため、大きな像等を設置するなど、随所に桃太郎を感じられるようにするのが良いと思う。また、各地域拠点の駅等にも関連のものがあると良いと思う。	岡山駅前には桃太郎像があり、また駅から岡山城、岡山後楽園へ通じる目抜き通りである桃太郎大通りにも、要所場所に桃太郎を感じさせるモニュメント等が工夫を凝らして設置されています。今後も「桃太郎のまち岡山」をキーワードにした魅力発信と観光素材づくりに様々な手段で取り組んでいきます。
110	分野別	政策4	「桃太郎のまち」に賛同する。今のままでは市民でさえ自信がないので、市が先頭切って市民や企業を煽動し、岡山いっばいに具体的に桃太郎がこれでもかというほど溢れ、目にし、耳にするよう盛り上げてほしい。また、都知事はオリンピックのピンバッチをしているが、全国発信するために市職員から率先してモモタロウバッチをつけることを初めてほしい。	様々な手段を活用して「桃太郎のまち岡山」をキーワードにした魅力発信と観光素材づくりに取り組み、本市の認知度や好感度の向上、観光誘客を図っていきます。
111	分野別	政策4	桃太郎は、キャラクターコンテンツとしては非常に有効と思うので、これと決めたら浮気をせず桃太郎に絞って仕掛けを展開していってほしい。	様々な手段を活用して「桃太郎のまち岡山」をキーワードにした魅力発信と観光素材づくりに取り組んでいきます。
112	分野別	政策4	施策③については、「桃太郎」、及び「桃太郎」に対して人々が抱く既成イメージ(力強さ・健康)にこだわらず、マーケティングに時間をかけて十分に練り上げてほしい。「ミコロ」「ハコロ」のように、市民に十分に定着しないままその使命を終えようとしているご当地キャラから得た教訓も今後の施策にいかしてほしい。	様々な手段を活用して「桃太郎のまち岡山」をキーワードにした魅力発信と観光素材づくりに取り組んでいきます。
113	分野別	政策4	岡山の認知度・魅力度をあげるため、桃太郎以外にも何か岡山をアピールできる魅力が必要ではないか。	「桃太郎」だけに限らず、そこから波及するものや、歴史・文化資源、果物、海産物等の本市が持つ多彩な観光資源を広い視野でとらえ、PRしていきたいと考えています。
114	分野別	政策4	観光・インバウンドの推進は、特に強力的に進めていってほしいと思う。西大寺は、はだかまつりをはじめとして知名度は低くても良い素材があると思うので、もっとPRしていけば良いと思う。応援している。	本市の様々な観光資源を情報発信していく中で、西大寺会陽等についても重要な観光資源としてPRし、観光・インバウンドを推進していきます。
115	分野別	政策4	インバウンド推進については、既存のゴールドルート+1となる必要があるが、限られた既存の観光資源(岡山城、後楽園、吉備路)では、他都市との競争力に欠けるため、ソフトをどう創っていくかが課題であると考え。挙げられている事業の他にも、後楽園を舞台とした音楽・アニメ・漫画等を活用した岡山発の新しい文化イベントの定期開催など、ヒト・モノ・カネをかけたインパクトのある事業が必要だと思う。	既存の観光資源のブラッシュアップ等により、より魅力的な観光資源の創出に取り組んでいきます。
116	分野別	政策4	宿泊者の増加について、施策①の「岡山らしいまつりの開催や岡山城と岡山後楽園との連携イベントの充実等」では、増加は限定的と思う。宿泊した日の夜や翌日の早期イベント(夜市、マルシェ、朝市)など、その土地で宿泊しないと参加できないイベントの方が魅力が増すのではないかと思う。	広域周遊観光のベース宿泊地としての魅力向上を図るため、滞在時間の延長や宿泊につながるイベントの充実等に取り組んでいきます。
117	分野別	政策4	市内に宿泊を楽しめる場所がない現状で、どこをベース宿泊地にするつもりなのか。広域周遊観光のベース宿泊地にできる様な温浴施設付宿泊施設(和風建築)を後楽園・岡山城周辺に設けてはどうか。また、団体等が土産品を買い求める場所がないので、岡山の観光スポットである後楽園周辺に道の駅を作り、岡山周辺の海の幸、山の幸を買い求める場所を設けてはどうか。	現在、市内のホテルに連泊しながらJRフリー切符等で周遊するケースもみられることから、今後もこうした利用を促進していきたいと考えています。
118	分野別	政策4	岡山城と岡山後楽園との連携イベントの充実をもっと強調してほしい。	平成26年度から岡山後楽園・岡山城等連携推進協議会を立ち上げ、連携したイベントの開催、告知等を実施しているところであり、今後もイベント等を充実させ、観光誘客を図っていきます。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
119	分野別	政策4	「岡山型ヘルスツーリズム」は、主に東南アジアを対象にしているが、国内に向けた施策は実施しないのか(岡山型ヘルスツーリズム内での話)。	ハラル対応の受入体制整備など、インバウンド事業におけるターゲットを絞りながら、一方で、農業・農村体験、軽スポーツ体験、郷土芸能体験等を通じた健康回復、健康増進に寄与するヘルスツーリズムとして国内外にPRしていきます。
120	分野別	政策4	「岡山型ヘルスツーリズム」について、例えば四万十川の景観に似ている牧山、牧石地区でのカヌー体験や、御津五城周辺での有機無農薬野菜を使った高級リゾートホテルの誘致なども盛り込んでどうか。	「岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業」の実施において、施設の誘致までは予定していませんが、スポーツ・文化等の体験については、様々なメニューを取り入れてパッケージ化していきたいと考えています。
121	分野別	政策4	岡山市の稼ぐ力のこれからの源泉は、外からの観光・コンベンション、移住など、交流による流入をいかにビジネスに結びつけるかにかかっていると考える。その新しいビジネス創出を盛り込んでほしい。	岡山型ヘルスツーリズムは、今後、ビジネスとして成り立つことを目指しており、観光・交流による流入をいかにビジネスに結びつけるかといった視点を持ちながら取り組んでいきたいと考えています。
122	分野別	政策4	都市ブランドの確立について、観光資源に乏しい中、大変だと思うが、ブランド力アップに頑張っていたきたい。岡山という大枠ではなく特定の地域でもよいので、全国に名が広まれば良いと思う。娯楽施設が少ないのも魅力の低さの要因のひとつかもしれない。	効果的なプロモーションの展開により「桃太郎」を岡山の都市イメージとして全国に発信するとともに、「桃太郎」をイメージ・体感できる観光素材づくりやヘルスツーリズムの拠点化等に取り組むことにより、娯楽性も加味しながら都市ブランドの確立を目指していきます。
123	分野別	政策4	観光担当局に期待している。その上で、以下をお願いしたい。 ・桃太郎のアイデンティティの確立と、当地としての物語性を小学校の教育現場にも浸透させてほしい ・看板・サインの多言語表示推進 ・無料Wi-Fiスポットの設置	本市が独自に制作した「おかやま桃太郎ものがたり」は、学校へも紹介しており、いただいたご意見も参考にしつつ、桃太郎の当地としてのアイデンティティの確立に引き続き取り組んでいきます。 看板・サインの多言語表示については、看板の更新等に合わせ、順次、多言語化を進めていきたいと考えています。 また、無料Wi-Fiスポットの設置については、民間事業者による無料のFree Wi-Fiスポットが拡大している状況も踏まえた上で、より利便性の高いFree Wi-Fiの環境整備について研究していきます。
124	分野別	政策4	様々な自治体が市民や観光客向けのFree Wi-Fiの整備に取り組んでおり、ぜひ岡山市でもお願いしたい。倉敷市は笠岡市や高梁市とともに高梁川流域Free Wi-Fiの整備に取り組んでおり、岡山市と県内の他の市が連携できれば利便性が高まり、観光客の満足度、岡山市の印象は上昇すると思う。また、市民や岡山市で働く人にとってもWi-Fi下でしか利用できないモバイル機器が街中で利用できるということは快適であると思う。	現在、民間事業者による無料のFree Wi-Fiスポットが拡大している状況も踏まえた上で、より利便性の高いFree Wi-Fiの環境整備について研究していきます。
125	分野別	政策4	岡山市のブランド力を向上させるためには、岡山市以外の市町村の協力が必要不可欠だと思う。例えば、日生でとれたカキを使った料理や備前焼の器など、他地域の名産品を使っていることを前面に出したレストランなどを岡山県を中心である岡山市が取り組めば、県全体としてブランド力を高められると思う。	平成28年度に連携協定を結んだ「岡山連携中枢都市圏」をはじめとした周辺の自治体と連携し、テーマやストーリー性を重視しながら観光資源を活用することにより、地域全体の魅力やブランド力の向上を図っていきます。
126	分野別	政策4	豊臣秀吉の高松城水攻めは、歴史好きには大変魅力ある素材だ。水攻めの陣取りが体感できる仕組みを作り、案内所にカフェを併設するなど、高松城址公園の再整備にもぜひ取り組んでほしい。	高松城水攻めは、歴史上、全国的にも有名な合戦であり、歴史・文化を伝えるため、備中高松城跡や水攻めの堤跡を活用して、史跡公園として整備しています。 現在、高松城址公園の再整備について計画はありませんが、歴史・文化を保全し、継承していく上で、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
127	分野別	政策4	交通の利便性、災害の少なさなど、移住・定住において岡山市の優位性は大きいと、積極的に進めてほしい。	本市の強みや魅力をより効果的に情報発信するなど、引き続き、移住・定住の促進に取り組んでいきます。
128	分野別	政策4 政策7	移住・定住の促進は、政策7の施策③とも関係している。官民協働による古民家の空き家対策については、特に市民の理解が得られるよう、行政が一步進んだ施策を行うことで対策が進むのではないかと。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
129	分野別	政策4	現状と課題にある「優れた交通利便性」とは、中四国の結節点として利便性が高いということであり、市内の交通利便性が優れているとは言えない。	ここでは、「優れた交通の利便性」について、本市が広域交通の結節点であり、その交通の利便性が高いという意味で記載しています。 なお、市内の交通利便性の向上については、政策6に記載した取組を進めていきます。
130	分野別	政策5	中心市街地にはコインパーキングや月極駐車場が乱立しており、街歩きする際には、自動車と歩行者の交錯が多数発生し、まちの景観にも影響が出ている。施策や事務事業には具体的な対策がみられないが、問題認識にとどまらず有効な具体策を掲載すべきではないか。	魅力と賑わいのある中心市街地の創出に向けた取組について、政策2に施策の方向性を記載しています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
131	分野別	政策5	コンパクトシティ+ネットワークのネットワーク側もコンパクトに集積しなければ、今後の超高齢化社会に対応できない。そのため、中山間地域等の周辺地域においては魅力ある地域づくりを進めるとともに、地域の生活拠点を集約した整備を行うことが必要である。この、商業施設、病院、福祉施設等がある程度集約した拠点の整備は、地域住民の主体性に任せては進まないため、官民協働による拠点整備事業が必要だと思う。	都心、地域の拠点、地域生活圏内の各エリアがネットワークで結ばれた「コンパクトでネットワーク化された都市づくり」を進めることとしており、また、中山間地域等の周辺地域では、地域住民が主体となった魅力ある地域づくりを支援することとしています。拠点の形成については、いただいたご意見も参考にしながら、今後、検討を進める予定です。
132	分野別	政策5	「岡山市西部総合公園(仮称)整備事業」について、市内中心部から近く、JRの駅もあり大きな土地なので、公園だけでなく公共施設の充実を図るべき。また、整備事業の中に、高齢者や子育て世代など世代を超えて活用できる図書館の整備を追加してほしい。	平成23年度に岡山操車場跡地整備基本構想、平成24年度に基本計画を策定し、全市民を対象とした各区での説明会等で市民と意見交換し、芝生広場や多目的広場、子ども広場、管理棟など、公園内の主な導入施設を決定しました。公園の基本設計を行うにあたっては、4回のワークショップを行い、多くの市民からご意見をいただきながら具体的な各施設の規模と配置を検討し、平成25年度に策定しました。その後、平成26年度に行った実施設計に基づき、平成27年度から工事に着手しておりますので、追加の整備は困難であると考えます。
133	分野別	政策6	都市の森公園として整備が検討されている岡山市西部総合公園(仮称)については、付近に「魚見山」という自然あふれる山と森があるにも関わらず、新たに人工的な森の公園として整備することは再検討すべきと考える。都市の森として整備されることが求められているのであれば、地元の方々に愛されている魚見山を森の資源として活用し、整備することが望ましいと考える。	「人々が関わることで育まれる都市の森」をコンセプトに、平成23年度に岡山操車場跡地整備基本構想を策定し、その後、全市民を対象とした各区での説明会等で市民と意見交換を、また、設計段階での市民ワークショップ等を行うことで整備計画を進めてきました。これに基づき、平成27年度から工事に着手していますので、整備の再検討は困難であると考えます。
134	分野別	政策6	北長瀬を活力ある拠点として整備するのであれば、全国大会でも日本一をはじめ常に上位の成績を収めているソフトボールの聖地として、地元の小学生から中学、高校、大学、プロリーグまで、全国大会が毎年開催できるボールパーク(専用球場)を整備してほしい。2020年東京オリンピック・パラリンピックの正式種目として女子ソフトボールが復活したチャンスを生かし、世界選手権大会やアジアの強豪国との国際交流大会等を岡山に誘致することにより、日本におけるスポーツ振興の都市として、中心部にある最後の大型遊休地である北長瀬エリアに国際的にもシンボルとなるような施設を整備してほしいと願う。	平成23年度に岡山操車場跡地整備基本構想、平成24年度に基本計画を策定し、全市民を対象とした各区での説明会等で市民と意見交換し、芝生広場や多目的広場、子ども広場、管理棟など、公園内の主な導入施設を決定しており、ご意見の専用球場の整備については困難であると考えています。なお、大規模な多目的広場の整備については、「岡山市スポーツ施設整備方針」に基づき検討していきます。
135	分野別	政策6	吉備線LRT化の検討と駅前広場等の交通結節点の強化、バス案内情報の整備が挙げられているが、安価な循環型バスの「めぐりん」を岡山駅へ乗り入れさせたい。他の地域にも循環バスが回るとは、観光客だけでなく市民にとっても便利であるため、ぜひ岡山駅構内と西口への乗り入れを進めてほしい。	「めぐりん」の岡山駅東口広場への乗り入れについては、関係者で協議しているところです。
136	分野別	政策6	バスロケーションシステムを導入しているバス会社もあり、その案内情報も必要だが、他県からの来客者から、岡山駅のバス案内看板がよくわからない、不足しているという声を聞く。交通事業者と連携して乗り場の再整備を行うということを盛り込んでほしい。	平成28年4月に岡山駅東口広場のバス乗り場の方面別化が実現しました。現在、方面別化にあわせて、デジタルサイネージの表示内容の更新に取り組んでいるところです。また、今年度から、路面電車の乗り入れを含めた駅前広場のあり方について検討しており、その中で、わかりやすい案内についても検討しているところです。
137	分野別	政策6	交通政策を考えた時、小型モビリティや自転車など自分で運転するものだけでなく、バスの利便性の向上を目指すべき。元々、岡山のまちは平坦で、若者は皆おのずと自転車を利用していた。もちろん税金をつぎ込むのはいかがなものか。バスの運行を民間任せにするのではなく、市民の足としてのバス運行をきちんと計画に入れてほしい。	現在、検討を進めている新たな総合交通計画では、路線バスの廃止や減便等により、日常生活における移動に対する不安が広がりがつある中で、市民生活の質を維持するため、バス路線の維持や生活交通の確保を重要施策として位置付けていきたいと考えています。
138	分野別	政策6	公共交通(JR)の定期券利用を高めるために、駅周辺にJR利用者のための駐輪場や駐車場の整備を図ってはどうか。このことが朝夕の市中心部への慢性的な道路渋滞の緩和にも結びつき、また、JRの本数確保にもつながり、利用者の利便性の向上が図れると思う。	公共交通の利用促進や利便性向上を図るため、駅やバス停等の交通結節点への駐車・駐輪施設の設置・拡充について、交通事業者等とともに検討していきます。
139	分野別	政策6	マスカット型都市構造と政策6は表裏一体であることから、機能集約コンパクトシティ化のため、市の誇るJR網にもっと新駅を設けることが効果的であり、計画には新駅設置の検討深化を明記してほしい。なお、JRは、在来線を都市間交通から都市内交通化へ方向変換し、既に姫路近郊や広島市内では駅設置が進み、ゲタ電化が具体化している。	平成17年に北長瀬駅、平成20年に西川原駅を新設しており、今後も新駅設置について、JR等の関係者と協議していきたいと考えています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
140	分野別	政策6	2020年以降は、自動運転車が新しい社会インフラを担う時代。岡山市は、次代の公共交通として、都市拠点と地域拠点を結ぶBRTや、地域生活圏を効率よく走るコミュニティバス、デマンド(乗り合い)タクシーの整備が急務で、営業距離が短すぎる時代錯誤の路面電車は廃線を検討すべき。JR西日本が手放したい「JR桃太郎線」は、電化するのではなく軌道を外し「専用バスレーン」として利活用すべき。吉備線LRT化は激しくナンセンスである。	公共交通の利便性向上や、中心市街地の回遊性向上を目的として、路面電車の岡山駅前広場乗り入れや吉備線LRT化等について検討しています。これらを含めた今後の公共交通ネットワークのあり方については、現在進めている新たな総合交通計画の検討の中で、皆様と議論していきたいと考えています。
141	分野別	政策6	岡山市は政令指定都市でありながら、中心部を離れると公共交通の便が悪く、高齢者等にとっては不便という声をよく聞く。地域における生活交通の確保という施策が挙げられているが、ぜひ自家用車等の交通手段を持たない人にもやさしい交通施策が実施されるよう期待する。	長期構想の都市づくりの基本方向2に生活交通確保の重要性を位置付けており、重点的に取り組むべき課題と考えています。
142	分野別	政策6	地域における生活交通の確保について、周辺地域はもちろん、中心部においても高齢化が進み、買い物難民と言われる現象が起きている。中心部の公共交通について交通事業者との再検討が必要だと思う。	日常生活に必要な移動手段の確保については、周辺地域に限らず、重点的に取り組むべき課題として、交通事業者等と連携して取り組んでいきたいと考えています。
143	分野別	政策6	公共交通・生活交通の確保は、住民にとって、特に高齢者、障害者にとっては生存にかかわる問題であるためしっかり取り組んでほしい。	長期構想の都市づくりの基本方向2に生活交通確保の重要性を位置付けており、重点的に取り組むべき課題と考えています。
144	分野別	政策6	コミュニティバスは、地域のタクシー会社が運営し、高齢もしくは障害により買い物や病院等への足(アクセス方法)がない買い物難民の方向けのものだが、時間も朝から夕方までが中心で、主婦やシルバーの方が働ける職種であり、雇用促進にも繋がることから、助成については雇用促進との連携を図った方が良いと思う。	いただいたご意見は、コミュニティバスや乗合タクシー等の導入検討や運営を行う際の参考とさせていただきます。
145	分野別	政策6	高齢者にとって、日常生活における交通手段は大きな問題と思われる。それは、都市部よりも農村部において深刻である。民間事業者では採算性が重視されてしまうので、計画に挙げられているようにコミュニティバスへの経費の助成など、生活の足の確保を推進してほしい。	現在、検討を進めている新たな総合交通計画では、路線バスの廃止や減便等により、日常生活における移動に対する不安が広がりがつある中で、市民生活の質を維持するため、バス路線の維持や生活交通の確保を重要施策として位置付けていきたいと考えています。
146	分野別	政策6	超小型モビリティ等の新たな移動手段の活用と、公共交通を中心とする都市交通網の一層の充実とは、直接的にどのような関係があるのか気になる。	一定の公共交通網が整備されている都市部において、新たな移動手段が、既存の公共交通・自転車・徒歩移動の隙間を補完することで移動の利便性が向上するものと考えます。
147	分野別	政策6	百間川堤防堤頂通路は安全で快適なため、昼夜問わず人や自転車の利用が多い。夜間の安全確保のため、河川管理と調整し、照明灯設置の事業化を明記してほしい。	百間川の堤防天端の歩行者及び自転車利用しているほとんどは河川管理道であり、国が管理しています。このため、本市が道路照明を設置する予定はありませんが、ご意見については国に伝えます。
148	分野別	政策6	生活基盤となる主要道路の整備は重要である。児島半島は県道が1本しかないため、人の往来のためにも幹線道として整備を進めてもらいたい。	児島半島には、県道岡山玉野線や県道倉敷飽浦線などの主要地方道がありますが、現在、県道倉敷飽浦線の幅員が狭小で見通しが悪い区間において、拡幅整備を進めているところです。
149	分野別	政策6	自転車通行帯の整備については、通行帯上での駐停車が多い等の問題への対策も併せて検討してほしい。	関係機関と連携し、交通ルールの周知や遵守率の向上を図っていきます。
150	分野別	政策6	まちなかに自転車レーンが整備されとても助かっているが、荷降ろしの車が邪魔になる時があるため、自転車専用1レーン確保してほしい。また、できるだけ車をまちなかに入らせないようにしてほしい。	車での移動に過度に頼る必要のない、「歩いて楽しいまちづくり」を目指し、引き続き、各種施策に取り組んでいきます。また、現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消に取り組んでおり、今後も継続して自転車利用環境の向上に取り組んでいきます。自転車レーンへの駐停車については、関係機関と連携し、交通ルールの周知や遵守率の向上を図っていきます。
151	分野別	政策6	自転車先進都市の推進は、地球温暖化防止の観点からも有効な施策であり、ぜひ推進してほしい。自転車は車からも歩行者からも嫌われ、走る所が無い。歩道を走らせるなら、歩道の段差を無くし、フラットにもらいたい。パンクの誘因であり、前かごから荷物が飛び出る危険性もある。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消に取り組んでおり、今後も継続して自転車利用環境の向上に取り組んでいきます。
152	分野別	政策6	公共バスの郊外本数が減少しており、高齢者が免許を返納した後の交通手段の整備が必要だと考える。また、まちなかでは自転車道の整備が進むものの、走りにくさや、古くからの狭い道をバスの横をすり抜けながら通る等の課題があり、空間整備が必要だと感じる。	長期構想の都市づくりの基本方向2に生活交通確保の重要性を位置付けており、重点的に取り組むべき課題と考えています。また、現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消に取り組んでおり、今後も継続して自転車利用環境の向上に取り組んでいきます。
153	分野別	政策6	施策③について、普段から自転車を利用することが多いため、自転車専用道や通行帯の整備を進めてほしい。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消に取り組んでおり、今後も継続して自転車利用環境の向上に取り組んでいきます。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
154	分野別	政策6	せつかく平野に都市があるのに自転車に乗りにくいと思う。ガタガタな道路が多く、車道との区別もしっかり出来ていない。また、ももちゃりがだいぶ老朽化してきている。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消に取り組んでおり、今後も継続して自転車利用環境の向上に取り組んでいきます。また、「ももちゃり」については、車両入れ替えも含め、運用を検討していきます。
155	分野別	政策6	岡山市は自転車利用にとっても適したまちなので、もっとたくさんの方に自転車を利用してほしい。そのためには、計画にある「自転車先進都市の推進」を積極的に進めてほしいと思う。特に道路の段差解消等の安全面の確保、また、まちなかには駐輪スペースの確保を小規模でもいいので多くの箇所へお願いしたい。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消に取り組んでおり、今後も継続して自転車利用環境の向上に取り組んでいきます。また、自転車利用ニーズに応じた駐輪施設の整備を進めていきます。
156	分野別	政策6	環境保全、中心部の渋滞解消対策、市民の健康増進の面から、自転車先進都市の推進は重要である。自転車レーンや駐車場の整備が進み、まちなかがどんどん走りやすくなってありがたい。これからも更に進めていってほしい。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消に取り組んでおり、今後も継続して自転車利用環境の向上に取り組んでいきます。また、自転車利用ニーズに応じた駐輪施設の整備を進めていきます。
157	分野別	政策6	自転車に関して、JR備前三門駅の自転車置き場の整備をしてもらいたい。少なくとも地面を平らにしてほしい。	JR備前三門駅の駐輪場については、駅前の利用状況を踏まえ、関係機関と協議していきたいと考えています。
158	分野別	政策6	施策③に、「ももちゃり」の施設配置や運用に関する検討、とあるが、単なる配置場所の入れ替えだけでなく、ポート数増加も含めた施設配置を検討してほしい。	「ももちゃり」については、利用状況や収支状況等を踏まえ、ポート増設も含めた施設配置や運用について検討していきます。
159	分野別	政策6	ももちゃりをよく利用している。計画の中に、現在の施設配置や運用方法等について検討すると記載されているが、ぜひももちゃりのポートの増設と自転車の保守について検討してほしい。また、自転車が走行しやすい道路の維持管理についてもお願いしたい。	「ももちゃり」については、利用状況や収支状況等を踏まえ、ポート増設も含めた施設配置や運用について検討していきます。また、現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備、路面の段差解消に取り組んでおり、今後も継続して自転車利用環境の向上に取り組んでいきます。
160	分野別	政策6	特に北区では自動車に対する依存度が高いという状況の中、自転車ニーズの高まりを受けて、放置自転車等を再利用するため、「ももちゃり」と同じようなシステムで貸し出すという制度も現実に可能ではないだろうかと思う。	撤去した放置自転車については、再整備をして岡山駅東口地下の駐輪場でレンタサイクルとして活用したり、中古自転車として小売店で販売する等の取組を行っています。
161	分野別	政策7	空き家対策は特定空き家だけでなく、利活用・コンバージョンが困難な空き家を地主が空地(クウチ)化できるよう、税制等のインセンティブを付与する施策を全国に先駆けて岡山モデルとして構築すべき。空き家は負以外の何ものでもないが、良好に管理された空地は、防災上も環境上も地域コミュニティ維持上も貴重な空間の資産である。立地適正化で粗にならざるを得ないエリアでも有効な対応策と位置付けてほしい。	いただいたご意見は、空き家等の適正管理を着実に進めていく中で、今後の事業実施の参考とさせていただきます。
162	分野別	政策7	施策③について、新たに住宅等の新しい開発を行う場合は、袋小路になるような乱開発をさせない条例をつくってほしい。市街地の分譲地をみると、袋小路が多く生活に不便な開発が多い。地域全体に合った開発が出来るように定めてほしい。	開発を行う場合、「開発許可申請の手引き」に基づき、県内統一の基準により許可を行っています。また、道路位置指定を行う場合、「岡山市道路位置指定指導要綱」により指定を行っています。今後も手引き及び要項に基づき地域に合った指導を行います。
163	分野別	政策7	現状と課題の3つ目の○に住宅政策の記載があるが、斎場、墓場が同じ項目でまとめられていることに違和感がある。	快適で暮らしやすい住環境づくりの一環として、斎場や墓地についても同じ政策としてまとめているものです。
164	分野別	政策7	一人当たりの公園面積が広く、水と緑が豊かな空間の形成は大変素晴らしいことだと思う。さらに、フェンスやネットがある簡単な球技ができる公園がもっと増えれば、より快適になると思う。	ボール遊びなど、簡単な球技であそぶことができる公園施設整備については、利用者や地元町内会、公園愛護委員会の方々と相談しながら検討していきます。
165	分野別	政策8	岡山城のアプリを作成すると訪問者の増加につながるのではないかと。(具体例) ・アプリ内で岡山城と連携して宝さがし ・趣のある写真が撮れる ・特定の場所にカメラを向けるともっかが現れる 等	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
166	分野別	政策8	旧内山下小学校跡地は、状態が良く場所が良いため、そこを活用したイベントの開催を行うと地域の活性化につながるのではないかと。	平成26年度から旧内山下小学校を活用した社会実験を実施しているところであり、いただいたご意見も参考にしながら、今後の社会実験及び跡地活用の検討を行いたいと考えています。
167	分野別	政策8	岡山市は魅力的な歴史・文化資産がたくさんあるのでPRして欲しい。	現状と課題及び施策の方向性にご意見の趣旨を記載しています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
168	分野別	政策8	「岡山芸術交流2016」等により、観光客が増加したと聞いている。古代吉備の遺跡群の日本遺産登録が実現することを願うとともに、例えば、観光客からよく聞く「桃太郎がいない」などの声に対応するなど、より観光客をコンスタントに呼び込める施策に努力して欲しい。	政策4の施策③に記載しているとおり、様々な手段を活用して「桃太郎のまち岡山」をキーワードにした魅力発信と観光素材づくりに取り組んでいきます。
169	分野別	政策8	施策②の「史跡岡山城跡の保存整備」について、市のシンボル、観光資源としてはもちろんのこと、再建後50年が経過していることから、耐震性の面からも本格木造再建の具体化着手を検討すると明記してほしい。また、西手櫓と城下筋間の民地の公有地化を検討すると明記してほしい。	岡山城再建50年を迎え、建物の強度や耐震性について検証するために、耐震診断の実施を検討しているところです。天守閣の木造復元については、復元の是非も含めて議論を行い、可能性を検討していくものと考えています。また、当該民地の公有化についても、歴史や文化、経済面等の様々な観点を踏まえ、総合的に考えていくことが必要となる内容と認識しており、ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
170	分野別	政策8	施策②の「子どもの頃から地域の歴史・伝統・文化に触れ親しむ・・・」は大変重要なことである。歴史・文化資産に親しめるよう、文化体験できるコーナーを設置し、県や学校とも連携して児童生徒の歴史・文化への関心を高めるべき(P49の「子どもたちの文化体験」とも関係)。	現在も、文化財課の専門職員が小中学校で出張講座を行う等の取組を行っていますが、関係機関との連携強化も含めて、子どもたちの歴史・文化への関心を高めるための工夫を行っていきます。
171	分野別	政策8	歴史・文化活動について、特にターゲットにしたい対象はどのような人たちなのか。県内、県外、国外の観光客、県内の子ども達、学生・・・どこに結び付けるかによって残し方や促進の仕方は大きく異なると思う。	各地域には、多くの歴史・文化資産がある中で、その掘り起こしや魅力の発信が十分ではないと考えており、いただいたご意見を参考に、対象についての視点を踏まえながら、施策・事業を実施していきたいと考えています。
172	分野別	政策8	造山古墳の整備、保存の推進が重要だと考える。実際に登れる古墳としては、全国第1位の規模であるということをもっとPRしていいのではないかと。	造山古墳は重要な歴史・文化資産の一つと認識しており、PRを行っていきたくと考えています。
173	分野別	政策8	現状と課題に、「歴史・文化ゾーンへの来訪者数は近年増加傾向にある」とあるが、図示されたグラフでは、むしろ横這いに近い状況にあるように見受けられる。一方、「文化財施設・講演会等への来訪者数の推移」を見ると、確かに増加傾向が見てとれるので、来訪の理由はコンテンツの魅力によるものと思われる。これらを前提とすれば、市内外の来訪者に対するアンケート調査等の実施により、観光ニーズや当地の潜在的な魅力を把握・発掘することが重要と思われる。その上で、いかに魅力的なコンテンツを企画してリピート率を高めていくかという戦略が必要と考える。また、このことは、政策9にも関連することである(特に過去1年間で文化芸術の実演に接した市民の数が減少している点において)。	平成27年に「岡山市観光客動向調査」を、平成28年に「岡山城天守閣等のあり方検討調査」を実施しており、これらを基に、計画を具体化するためのアクションプランを作成しているところです。ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
174	分野別	政策8	岡山城跡等の歴史・文化資産を活かした取組を今後もより一層推進して岡山市を盛り上げて欲しい。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
175	分野別	政策9	鹿児島等で設置されているストリートピアノを岡山でもぜひ置いてほしい。岡山国際音楽祭も、もっと(市民の方々が身近に音楽を感じられると)盛り上がると思う。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
176	分野別	政策9	岡山駅構内からイオンに続く地下道を、市民が自由に演奏し、歌い踊る場として、使われなくなったピアノを調律し、アートとしてペイントを行った上で設置してほしい。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
177	分野別	政策9	旧千日前を昔のように賑やかで、市民の皆さんが楽しめるようなまちにしてみたい。	新しい文化芸術施設は、誰もが気軽に立ち寄り、憩い、交流できる施設として考えており、地域の活性化と賑わいづくりにつなげていきたいと考えています。
178	分野別	政策9	施策①に記載している展示会や舞台の世界をさらに広げ、深いものにしてくれるのが図書館である。そこで、図書館という場を芸術鑑賞の場にもっと利用すべきであるとする。芸術と書物の双方向のアプローチを行えば、理解や浸透がより進む。しかし、現在の中央図書館では、広さや設備、スタッフ数等の課題が大きい。そのため、政策7の施策③にある、北長瀬みずほ住座の再生にあたり、中央図書館の役割を補完できる規模の新たな図書館の建設を希望する。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
179	分野別	政策9	図書館の役割として、各種講座を行うことも重要であるが、通常は本を静かに楽しみたい。そのような利用者のために、余裕あるスペースと音が遮断できる講義室が必要である。様々なイベントをつつ静寂さを保つことができれば、文化芸術活動と街づくりをつなぐ一役を図書館も担える。現在のように、中央図書館へ一極集中してしまう体制には無理があり、また、市西部には図書館が無いため、市西部に充実した分館の設置を検討してほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
180	分野別	政策10	岡山に、プロスポーツ(ファジアーノ)を応援する風土を根付かせてほしい。広島市のように市民をあげての応援体制ができればと期待している。	広島には「トップス広島」というトップスポーツを支援する組織があることは承知しており、ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
181	分野別	政策10	ファジアーノ岡山を応援している。プロスポーツチームが岡山にあることで岡山が盛り上がり、一体感を感じられると思うので、行政もできる範囲で支援をしてもらいたい。	ご意見の趣旨は施策①に盛り込んでおり、今後も一層の支援をしていきたいと考えています。
182	分野別	政策10	スポーツの振興は健康寿命の延伸につながるので推進してほしい。住環境の変化や交通安全等の面からスポーツをする場が少なくなってきたように思われる。特に未来を担う子どもたちのために、スポーツができる場、イベントをつくってほしい。	本市のスポーツ振興の中心的な役割を担っている岡山市体育協会と協力しながら、子ども達を含め、ライフステージに応じた多様なスポーツ機会の提供に努めていきます。
183	分野別	政策10	最近、スポーツ少年団や団員の減少が著しく、子ども達がスポーツをする機会が無くなるのではないかと心配している。子ども達がスポーツに親しみやすい環境を整えてほしい。	本市のスポーツ振興の中心的な役割を担っている岡山市体育協会と協力しながら、子ども達を含め、ライフステージに応じた多様なスポーツ機会の提供に努めていきます。
184	分野別	政策10	岡山市には割安なスポーツ施設が多くあり、よく利用しているが、施設が傷んでいることが多いので、計画的な修繕を積極的に進めてもらいたい。	老朽化したスポーツ施設については、平成27年度に策定した「岡山市スポーツ施設整備方針」に基づき、計画的な修繕を実施し、適正な管理に努めていきます。
185	分野別	政策10	ファジアーノ岡山を引き続き支援してもらい、できれば今のシティライトスタジアムより見やすいスタジアムで試合を見たいと思う。	施設整備は財政上の負担が大きいことから、対応は困難と考えていますが、ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
186	分野別	政策11	施策①に「安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進め、出生率の向上を図ります」と記載されている。これからの人口減社会を考えると、岡山市の最重要課題だと思うので、効果的な事業展開を期待している。	保育サービスの充実、仕事と家庭生活の両立の推進、子育て家庭の経済的負担の軽減、母子保健の推進など、出生率の向上に向けて着実に各施策を推進していきます。
187	分野別	政策11 政策12	都会過ぎず、不便過ぎず、安心して子育てのできるまちであって欲しいと思う。	安心して子どもを生み育てることができる環境づくりに向けて、企業や学校、市民団体等と連携しながら、着実に施策・事業を推進していきます。
188	分野別	政策11	私立保育所の新増設とあるが、市立保育所について特段の対策が無い。民間(株式会社)に保育所経営をさせるべきでない。どんどん劣化する。	平成24年に策定した「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」を基本に、公としての役割を担う幼保一体化施設の整備や施設の再配置を進めるとともに、民間活力を活かした施設の新増設に取り組むなど、様々な手法により、就学前教育・保育の確保を図っていきたくと考えています。
189	分野別	政策11	保育園は民間で増やすのではなく、公立で行ってほしい。	平成24年に策定した「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」を基本に、公としての役割を担う幼保一体化施設の整備や施設の再配置を進めるとともに、民間活力を活かした施設の新増設に取り組むなど、様々な手法により、就学前教育・保育の確保を図っていきたくと考えています。
190	分野別	政策11	保育士の待遇改善について言及がない。特に民間の保育士の待遇改善を急ぐべきだ。	保育士の処遇改善について、政策11の施策①に記載しているとおり、国の動向も見極めながら、市として取り組みを進めていきます。
191	分野別	政策11	安心して子どもを生み育てるためには、待機児童対策は必要だ。しかし、保育士の確保ができないため入園を断っている保育園があると聞いたことがある。市では、保育士確保支援事業を行っているが、どれくらいの方が相談に訪れ、保育士として再就職できているのか。そのようなことを成果指標に掲げても良いのではないのか。	保育の受け皿確保を図る上で、保育士の確保は重要であると考えます。本市では保育士・保育所支援センターを設置し、潜在保育士の方の復職支援等に取り組んでいますが、保育所への就職についての相談先は、ハローワークなど他にも存在し、保育士・保育所支援センターのみの相談件数等をもって成果指標とすることは適当でないと考えます。いずれにしても、保育士・保育所支援センターの一層のPR等を含め、保育士の確保に取り組んでいきたいと考えています。
192	分野別	政策11	放課後児童クラブ施設の整備について、本計画に対する直接の意見ではないが、中心部にある未使用で次第に老朽化している市保育所を有効に活用できないものか。	放課後児童クラブ室を整備する際には、学校施設の活用を最優先としながらも、幼稚園やその他公共施設の活用も視野に入れて検討しています。
193	分野別	政策11	放課後児童クラブについて、需要の変化に応じたサービスを提供するためには、利用者(児童、保護者)の意見も取り入れた運営体制になるのが良いと思う。	現在、放課後児童クラブの運営体制の見直しを検討しており、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
194	分野別	政策11	子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進について、現在、多くの都道府県、市町村、また民間企業で様々な取組が行われていると思うが、岡山市が独自にワーク・ライフ・バランスの実現、充実に向けて行っていることがあれば教えてほしい。中でも、男性の育休取得に向けた働きかけについて力を入れて取り組んでいることがあれば教えてほしい。	本市では、ワーク・ライフ・バランスの実現や男性の家事や育児など、家庭生活への参画促進に向けて、企業を対象とした講演会やセミナーの実施、優れた取組を実践する企業の表彰、企業における先進事例の情報発信等の啓発を進めています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
195	分野別	政策11	子育て支援に興味を持っており、ワーク・ライフ・バランス推進の施策がとても良い案だと思った。	ワーク・ライフ・バランスは、今後一層重要になると考えており、企業や市民への幅広い啓発等に取り組んでいきたいと考えています。
196	分野別	政策11	私は中学生と高校生の母親だが、18時頃職場を出て19時頃帰宅し、子どもが夕食を摂れるのが19時半から20時。18時に職場を出るのは、日本では比較的恵まれた労働環境といえるが、この生活は本当に苦痛であり、子どもを食べさせるのであれば遅くとも18時には帰宅したい。たくさん休めるようになったら、今の日本のGDPの水準を保つことが出来なくなってしまうのか。とても難しいことと思うが、私の子どもが大人になった頃には、ゆとりや人生の楽しみを感じながら就労できるように進化していってほしいと切に願う。	安心して子どもを生み育てることができる環境づくりに向けて、企業や学校、市民団体等と連携しながら、着実に施策・事業を推進していきます。
197	分野別	政策11	現状と課題で、企業での育児・介護休業取得率が低い点に触れているが、ならば取得率の向上を啓発施策の成果指標に加えてほしい。また、社員の子育て支援に積極的に取り組んでいる「くるみんマーク」「プラチナくるみんマーク」認定取得企業数も成果指標に加えてほしい。	成果指標については、定期的にデータの把握ができるなど、数値の把握方法を勘案しながら検討し、現在の指標を設定しているところですが、いずれにしても、企業等を対象にワーク・ライフ・バランスの啓発等に積極的に取り組んでいきたいと考えています。
198	分野別	政策11	施策④について、子育て不安軽減への支援策の一つとして図書館は欠かせない。情報提供だけでなく交流の場としても活用できる。情報提供の専門家がいる図書館を子育て支援のために、充実、活用することをここで明記し、保健センター等の子育て専門機関、専門家との連携を施策として考えてほしい。	現在、図書館では「絵本の読み聞かせ体験」を実施しており、乳幼児や保護者の交流の場となっているところです。いただいたご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
199	分野別	政策11	安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりのためには、地域の雇用を守り、コミュニティを維持する中小企業の持続的発展が不可欠であり、そのための施策も含めてほしい。	市内企業のほとんどを占める中小企業は、地域の雇用の場であり、地域社会にとって重要な存在であると考えており、政策1の施策②に記載しているとおり、引き続き中小企業の育成・支援と経営安定化に取り組んでいきます。
200	分野別	政策11 政策13 政策21	ダブルケアについて記述がないように見受けられる。晩婚化、晩産化が進む中、少子化対策のために出生率を上げるとなると、子育て期間と介護期間が重なる。子育てと介護に関する政策が別々になっているところを見ると、縦割り行政の感もあるが、全国的にも問題になっていることから、ダブルケアに関することについても検討を進めてほしい。	本市では、介護に関する相談窓口として、地域包括支援センターや福祉事務所等、子育てに関する相談窓口として地域子育て支援センターやおかやま産前産後相談ステーション等を設置しており、必要に応じて関係部署が連携し、各家庭の状況に応じてきめ細かく対応していきたいと考えています。また、多様で柔軟な働き方や長時間労働の是正に向けた企業の取組を促進するため、企業に積極的に働きかけていきます。
201	分野別	政策12	相対的貧困の定義は理解できるが、安心な居場所づくり、精神面からの支援ということで、現状と課題に入れ込むことが望ましいと思う。	子どもの貧困対策には、安心な居場所づくり、精神面からの支援も必要と考えており、いただいたご意見は今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
202	分野別	政策12	貧困家庭の教育格差の是正のための資金援助、次世代が貧困から脱却するための教育機会の提供が必要。	政策12の施策②に記載しているとおり、困難を抱える子育て世帯への経済的支援や、教育、就労、生活面等における総合的な支援を充実していきます。
203	分野別	政策12	虐待や子どもの貧困問題が深刻化している。社会全体で支えていくことが必要だが、特に家庭の養育力が低下していることが問題。そのための具体的な施策の拡充に取り組んでほしい。	児童虐待や子どもの貧困問題は、家庭の経済的な要因や養育力の低下など、様々な問題が絡み合って発生するため、養育者への支援や養育環境の改善に向けて関係部署が連携して取り組むことが重要であると考えます。いただいたご意見は今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
204	分野別	政策12	地域の安全・安心、健全育成は、地域をあげて取り組む問題だと思う。地域活動が密な地域は地域の目により犯罪も少なく、子どもたちも見守られている。青少年健全育成活動や地域のコミュニティを形成する取組を更に推進してほしい。	青少年の非行防止と健全育成のためには、家庭、学校、地域、関係機関等との連携が重要であると考えており、連携を図ることにより青少年健全育成活動を推進していきたいと考えています。
205	分野別	政策12	発達障害者が近年増えているように思われる。卒業後、自立できる就業支援をして生涯生活できる社会を作る。民間の力を借りても良いと思う。	現在、本市では、民間の協力を得て、発達障害者の方が職場見学をする事業を行っているところです。今後も民間の事業者等と協力しながら発達障害者の自立に向けた施策・事業を進めていきます。
206	分野別	政策12	施策③に対する成果指標について、発達障害者の就職人数は設けているが、就業支援による就職件数(人数)は設けないのか。	本市では、発達障害に限らず障害者の方を対象とした福祉施設から企業等への就職支援事業を行っており、政策22の成果指標として「福祉施設から一般就労への移行者数」を設定しています。
207	分野別	政策12	青少年の健全育成に対する満足度は誰の満足度か、また、健全育成の何に対する満足かわからない。	非行防止や体験活動の促進など、青少年の健全育成のための施策は多岐にわたっており、また、健全育成は地域をあげて取り組む課題であることから、市民を対象とした市民意識調査における、全般的な青少年の健全育成に対する満足度を成果指標にしています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
208	分野別	政策12	施策③について、若者、特に中学・高校生世代が自由に集い、自律的に活動できる場所をつくることを、非行防止、就業支援とともに施策に挙げてほしい。スポーツ施設だけでなく、興味に沿って自主的に学ぶ場、気軽に相談・議論し、若者から発信できる場所をつくることを盛り込んでほしい。	青少年が自由に集い、自発的に活動することができる場を設けることは、青少年の健全育成に向けた支援策の一つであると認識しており、今後、検討が必要な課題であると考えています。
209	分野別	政策12 政策14	少子化そして核家族化の進行、又、地域コミュニティにおける人間関係の希薄化等により、子育て家庭の孤立化が進み、虐待においては、目をみはるものがある。いっその事生まなければよいのにと声を大にして言いたい。その上で、家庭及び教育では命の尊さということについてどのような教育をしているのか。昔の修身等を再度思い出されては如何か。本当に最近の我が国自体がおかしくなっている。	児童家庭相談体制や関係機関・団体との既存ネットワークの連携をより一層強化して、児童虐待の防止や虐待を受けた子どものサポート等に取り組んでいきます。また、命の大切さについて、日々の学習や学校生活全体を通して指導を行っていきます。
210	分野別	政策12 政策23	子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくりについて、小学校通学路における水路への転落防止策が不十分であり、毎年、低学年を中心に事故が起こっている状況を改善する必要がある。暗渠も非常に多く、現在設置されている柵では効果が薄いエリアも多くなっている。蓋をするなどして大きな事故になる前の対策が必要だと思う。	通学路については、教育委員会を中心として市立小・中学校の通学路合同点検を実施し、危険箇所の対策を実施しています。今後も引き続き、通学路から用水路等へ転落する危険性に留意し、通学路の更なる安全・安心の確保に取り組んでいきます。
211	分野別	政策13	「地域においても、町内会長やPTA会長等への女性の就任割合を高めるなど・・・」を受けて、女性自身の参画意識が今なお低いことへの対策が必要である。	男性、女性ともに、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発に取り組んでいきます。
212	分野別	政策13	若者を求める地元企業と地元で就職したい若者が出会う仕組みの構築など、マッチング機能をつくることはできないか。	新規卒業者等やUIJターン希望者を対象とした合同企業説明会、就業体験事業、企業情報開拓事業のほか、若者と地元企業の交流を深める事業を実施することで、就職マッチングの促進に取り組んでいきます。
213	分野別	政策13	女性、若者が現在どのような悩みを持ち、どういったニーズがあるのかをまずヒアリングするなど、現場ニーズ(切実なもの)を調査することができないのか。	今後も効果的な調査方法等を工夫しながら継続してニーズの把握に努めていきます。なお、平成29年度から、大学生が企業や地域、NPO等との協働により、まちの課題解決を図る活動を企画・立案する「大学生まちづくりチャレンジ事業」を新たに実施する予定であり、本事業を通じて大学生のニーズの把握等が出来るものと考えています。
214	分野別	政策13	講演会や研修で固定的役割分担意識が改善されるのか疑問に思う。ジェンダー意識に関わらず、実際良い結果につながった事例はあるのか。	効果的な啓発となるよう、継続して社会全体の意識の醸成に努めていきます。
215	分野別	政策13	平成37年の岡山市の高齢化率は27%。また、市民意識調査では、まちづくりを進める上で大切にすべき視点として、超高齢化への対応、人口減少・少子化への対応、災害への備えの強化、次代を担う人づくりの4つが上位となっており、それらを踏まえると、地域中小企業や農業の後継者不足、町内会役員や民生委員の成り手不足、福祉の需要増、買い物難民・交通難民の増加、空き家の増加等が今後の長寿社会の問題点として挙げられる。このような中、岡山市民は無関心な気質の人が多く、社会と関わらない若い家族が増えており、若い家族の「親の社会教育不足」が地域社会に大きな影を落とすつつある。そこで、次の3点を提言したい。 【学生を地域社会に活用(岡山市には7つの大学がある)】 1 学生の社会参加 町内会活動行事の援助、民生委員の補助等による「社会教育訓練」など、学生を地域活動等に参加させる。 2 高齢者と学生の共生 高齢者と学生が共同生活を送ることで、学生は、高齢者のできない・困っている部分などを援助し、高齢者は、学生に知識・知恵、生活の基礎や地域の絆などを伝授することで、高齢者又は地域社会と学生の「WIN・WINの関係」を築く。 3 空き家と学生 県外の移住学生を中心に、地域の空き家を学生が利用できるようにし、その条件として地域社会へ参加させる。 以上、検討をお願いしたい。	市内には短大も含めて12の大学があり、政令指定都市の中でも人口に対する大学生の比率が高い状況にあります。こうした強みを生かして、企業や地域、NPO等との協働により、大学生がまちの課題解決を図る活動を企画・立案する新規事業「大学生まちづくりチャレンジ事業」を平成29年度から実施する予定であり、本事業を通じて、ご提言の活動等も学生たちによって実践されるものと期待しています。
216	分野別	政策14	学力と大学進学率をアップするため、公立の高校生でも大学入試を受けない者は授業を受けなくても単位が与えられる。長い人生を生きていくうえで、大学さえ受ければ良いという高校及び教育委員会の偏った考え方や暗黙の了解は如何なものかと思う。	本市では、受験に必要な学力だけでなく、「知・徳・体の調和のとれた自立に向かって成長する子ども(自立する子ども)」の育成を目指した教育を行っています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
217	分野別	政策14	職業観を醸成させるだけでなく、地元の中小企業・小規模事業者の紹介ができるような場があれば良いのではないかと。「どんな職に就きたいか」の前に「こんな職がある」といった情報を提供することで地元企業就職者の確保にもつなげていけば良いのではないかと。特に若手経営者との接点があれば良いと思う。	本市では、中学生の職場体験等を通じて、地元の方との交流を進めています。今後は、事業者の方と協働した取組についても検討していきたいと考えています。
218	分野別	政策14	施策②で職業観の醸成について記載しているが、中小企業が国内企業の99.7%を占め、そこで働く人々が日本の就労人口の7割を超えているという事実を、まず市民が認知することが、地域にとっても子どもたちにとっても望ましい職業観涵養の前提になるものと考えられる。そのためにも、キャリア教育を担う教師自身が、地元中小企業が地域で果たしている役割を正しく理解し、子どもたちに伝えることが重要である。若い世代に、地元の中小企業にもユニークな仕事や高い収益性を維持している会社が数多く存在していることを伝え、生涯にわたって全人格的な成長が期待できる職場として県内・市内の中小企業の魅力を積極的に伝えてほしい。また、同時に教職員自身が中小企業の現場を知るための取組を強力に推し進めてほしい。この点は、政策13の施策②、政策15、政策29にもそれぞれ関連する。	本市では、事業者の方に講師を依頼し、教職員研修を実施する等の取組を行っています。今後は、事業者の方と協働した取組についても検討していきたいと考えています。
219	分野別	政策14	岡山市の教育行政の大きな特徴として、全小中学校に学校司書がおり、学校図書館の機能を通じて、岡山市の子どもたちの学びを深めている実態がある。それをさらに充実させるため、施策①の1つ目の○の文章に「子どもたちの学びを深めるために、学校司書がいる学校図書館の働きを活用した授業を増やす」ことを付け加えて明記してほしい。	政策14の施策①に記載している「主体的・協働的に学ぶ授業づくり」には、学校図書館の活用も含んでいます。
220	分野別	政策14	施策①及び施策②で、「子どもの主体的・協働的に学ぶ授業」や、「体験学習、地域の偉人や歴史、文化などについての調べ学習など」により、子どもの豊かな学びと地域を大切にすることを育む、と書かれている。そうした教育を進めるためには、学校図書館での充実した調べ学習が欠かせない。学校図書館がそうした教育に貢献できるよう、学校図書館を活用した学習を充実する、といった記述を加えてほしい。	政策14の施策①に記載している「主体的・協働的に学ぶ授業づくり」や施策②に記載している「調べ学習」には、学校図書館の活用も含んでいます。
221	分野別	政策14	施策①に、岡山市の特徴である正規の学校司書配置と、その学校司書の働きを活用した授業や学習支援を明記してほしい。	学校司書の役割は重要であると考えていますが、本計画には、人員の配置についての記述は行いません。また、政策14の施策①に記載している「主体的・協働的に学ぶ授業づくり」には、学校司書の働きも活用も含まれていません。
222	分野別	政策14	岡山市の独自の学力調査は必要なのか。現場の教師や子どもの負担になるようならやめるべき。子どもたちの豊かな学びのために教職員と学校司書が協力して学校図書館を利活用した授業や取り組みを増やしてほしい。	本市独自の学力調査は、子どもたちの学力の実態をより詳細に把握することで、各学校における教科指導の成果と課題を検証するために必要と考えています。また、政策14の施策①に記載している「主体的・協働的に学ぶ授業づくり」には、学校図書館の活用も含まれています。
223	分野別	政策14	全国平均に比べて学力が低い岡山市の子ども達の将来を本気で憂慮するのであれば、もう少し高い目標値を掲げて取り組むべきではないかと。	全国学力・学習状況調査において、中学校で全国平均を下回っている状態が続いているという現状を踏まえ、まずは全国平均を目指して取り組んでいきたいと考えています。
224	分野別	政策14	岡山市の学校図書館には、専任、専門の学校司書がおり、この先進的な学校図書館で培われる力は、全国学力テスト等の数字で測ることは難しい力であり、日常生活の中で活かされてこそものだと思う。岡山市独自の学力調査をするなら、是非、その力が評価できるものと考えてほしい。	本市独自の学力調査は、子どもたちの学力の実態をより詳細に把握することで、各学校における教科指導の成果と課題を検証するために必要と考えています。ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
225	分野別	政策14	「学校が子どもにとって楽しく充実した学びの場になるようになっていく」という記述や、「子どもが自分で考え、表現しながら、基礎的な学力を確実に身に付けることができ…満足感の持てる授業づくりやきめ細かな指導ができる体制の充実が必要となってきます。」という記述は、「『自立』にむかって成長する子ども」の育成に欠かせないと思う。	施策の方向性に沿った取組を着実に実施することにより、「知・徳・体の調和のとれた自立に向かって成長する子ども（自立する子ども）」の育成を目指していきたいと考えています。
226	分野別	政策14 政策17	子どもの教育において、環境(特にゴミの問題)をどうすれば住み良い岡山になるか教える事が大切だと考える。①ゴミを捨てない、②ゴミを見つけたら拾って片づける、この事が将来美しい街や農村を形成する基本となると思う。また、町内会の日常活動として全員でゴミを拾うよう話し合いをするべきだと考える。	学校においては、通常の学校生活や環境をテーマにした学習における指導のほか、小学校4年生に副読本「ごみと資源とわたしたち」(冊子)を配付し、環境ごみスクール(出前授業)を実施するなど、ごみの出し方・分け方の周知とごみの減量化・資源化の大切さを教えています。これらの取組を通じて、地域の環境について考える子どもたちを育成していくことができると考えています。また、環境美化活動は、町内会において代表的な活動の一つとなっています。
227	分野別	政策14	「子どもの豊かな学び」を育むためにも、授業の創意工夫を図る教師にとっても、学校図書館、学校司書は重要であり、充実させることを追加してほしい。	政策15の施策①に記載している「教職員の力量の継続的な向上を図り…」や、施策②に記載している「学校図書等の充実を図り…」という箇所にご意見の趣旨を盛り込んでいます。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
228	分野別	政策14	岡山市の教育行政の大きな特徴として、全小中学校に学校司書がおり、学校図書館の機能を通じて、岡山市の子どもたちの学びを深めている実態がある。それをさらに充実させるため、施策①の主な事務事業「岡山っ子学力推進事業」の次に新しく項を起こして「学校司書配置事業：全小中学校への学校司書の配置による、主体的な学びや豊かな感性を育む活動の実施」を追加してほしい。	学校司書の役割は重要であると考えておりますが、本計画には、人員の配置についての記述は行いません。
229	分野別	政策14	情報社会に生活できてありがたいが、人と人との交流が少なくなった。人と向き合って情報交換しなくてもスマホがあれば誰でも話せるつもりになる社会、人付き合いが下手になる若者を見ると少々さびしい。相手の気持ちを感じることができる機会を多く作ってほしい。	政策14では、道徳教育や学級でのよりよい人間関係づくりに向けた取組等による思いやりの心の育成について記載しており、今後は、これらの施策の方向性に沿って効果的な取組を実施していきます。また、地域住民の交流促進については政策17に記載しています。
		政策17		
230	分野別	政策15	情報リテラシー教育が重要であり、そのためには学校図書館資料の充実が必要である。このため、施策②の4つ目の○に「ICTを活用した学習の支援とともに、読む力をベースにした情報リテラシーを身に付けるための学校図書館資料の幅広い充実や教材教具の充実を図り、計画的に質の高い教育環境の整備を進めます。」と付け加えて明記してほしい。	ご意見は、教育環境整備を行う上で参考とさせていただきます。
231	分野別	政策15	施策②の「ICT」、「学校図書等の充実」に加えて、それらの活用に欠かせない「情報リテラシーの推進」を加筆してほしい。そして、「子どもの主体的・協働的に学ぶ授業」や「地域の調べ学習の推進」、また、施策①、②をいかにするために、学校司書の配置の重要性を記述してほしい。	政策14の施策①に記載している、主体的・協働的に学ぶ授業等を通して、子どもの情報リテラシーを育成していきます。また、学校司書の役割は重要であると考えておりますが、本計画には、人員の配置についての記述は行いません。
232	分野別	政策15	子どもたちが情報リテラシーの力を身につけることができるよう、ICTを活用した学習支援だけでなく、学校図書館の充実を図るよう、学校司書を嘱託ではなく正規司書で配置し、幅広い資料を蔵書にできるよう予算の増額を継続して推進してほしい。	学校司書の役割は重要であると考えておりますが、本計画には、人員の配置についての記述は行いません。また、蔵書については、政策15の施策②に「学校図書等の充実を図り…」と記載しています。
233	分野別	政策15	施策②について、学校図書館の充実を挙げているのは、さすが全国から目標とされている岡山市だと嬉しく自慢に思う。ただ、「新しい教育内容や教育方法に適切に対応」するためには、教材教具、図書の充実だけでは不十分である。多忙な教師と協力できる情報教育や資料提供の専門家である学校司書の充実も盛り込んでほしい。	学校司書の役割は重要であると考えておりますが、本計画には、人員の配置についての記述は行いません。
234	分野別	政策15	施策①について、教員の専門性をいかして、「子どもたちにとって楽しく充実した学び」を実現できる学校にするには、学校教職員の正規職員を増員し配置することが重要である。「子どもたちにとって楽しく充実した学び」の学校を実現するために「学校教職員の正規職員を増員し配置」という内容を加えてほしい。	教員数については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の範囲内で、学校の実態や課題に応じて適正な配置に努めていきたいと考えています。
235	分野別	政策15	教職員の資質能力向上とともに、知恵を絞って残業の大幅な削減策を講じるべき。	部活動の休養日や定時退校日の設定等を行い、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に努めていきます。
236	分野別	政策15	快適な教育環境を確保するためには、校内全てに冷暖房設備の完備が必要ではないか。エアコンのない家庭が想像できない現代において、教育現場は時代遅れ。これでは学力向上は望めないし、学校に行くのが楽しいはずがない。	空調設備の設置については、政策15の施策②に記載している「快適な教育環境を確保するための増改築等」にその趣旨を盛り込んでいます。
237	分野別	政策15	現在の学校は先生に負担がかかりすぎている。夜の0時を過ぎても仕事をせざるを得ない先生がいる完全なブラック職場もある。施策にあるように、スクールカウンセラーや各種支援員を拡充し、先生が本来の業務に専念できる体制を整えるべき。また、学校に多くを求めすぎる風潮を是正すべき。	支援員等の拡充などにより、指導・支援体制の充実を図るとともに、岡山市地域協働学校(コミュニティ・スクール)の取組の推進等により、社会全体で子どもを育む意識の醸成を図っていきます。
238	分野別	政策16	図書館について、「開館日・開館時間の見直し」と「公民館との連携」は、費用対効果の面で有効な方策ではないと考える。特に公民館については、長年同じようなことが主張されてきたが、ほとんど成果は得られなかった。貧弱なサービスポイントへ経費を薄く広くばらまくのではなく、一点に集中させる方がはるかに大きな成果が得られる。29の公民館の年間貸出数の合計は約11万冊だが、非正規職員3名の伊島図書館1館の貸出数は約28万冊に上る。この事実を地区図書館整備のために応用してほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
239	分野別	政策16	図書館整備計画にある地区館建設が市民のニーズであるため、施策①の5つ目の○の文章を書き換え、「図書館のない地域に直営の地区館建設を進める」としてほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
240	分野別	政策16	市民に身近な生涯学習の場は、公民館と図書館である。公民館建設事業があるのに図書館建設事業がないのはなぜなのか。図書館建設事業を追加してほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
241	分野別 政策16	主な事務事業について「地区公民館の整備」が謳われる一方で、「地区図書館の整備」が抜け落ちているのは図書館軽視と言うほかない。中区には図書館が無いが、政令指定都市で特定の区だけ図書館がないという事例は、全国的にも少ないと思う。20年前に策定された図書館整備実施計画は市民への約束であり、実施が遅れるのはやむを得ないとしても、1館ずつでも実現に取り組んでほしい。人口減・少子高齢化の時代だからこそ、図書館は住み続けたい、暮らしやすい街づくりのために、また街に賑わいをもたらす施設として必要である。「インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業」については、経費や手間が増加する割に、成果は微々たるものに終わると思う。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
242	分野別 政策16	図書館建設事業もお願いしたい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
243	分野別 政策16	公民館建設事業は記載があるが、図書館建設がないのは社会教育の見地から見て不十分なので、施策①の主な事務事業「豊かな学びの機会と場の提供」に加えて「図書館建設事業：直営の図書館整備計画の推進と図書館建設事業を進める」と明記してほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
244	分野別 政策16	「活力」ある「住みやすい」市を目指し、「学力向上」、「不登校対策」を掲げ、「市民力」、「ESD」を念頭に、将来像として「新たな文化を創造、発信」、「地域の教育を高める」などの内容に共感した。これらを具体化するためには、地域の図書館は不可欠。ぜひ、図書館についての対策をお願いしたい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
245	分野別 政策16	現在ある図書館のサービス向上はもちろんだが、中区など図書館空白地域に図書館建設を進めてほしい。図書館は貧富の差無くすべての市民が利用できる生涯学習施設。すべての市民が利用できることを目指すべきだと考える。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
246	分野別 政策16	改築及び改修だけでなく、図書館新築も追加してほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
247	分野別 政策16	近年、図書館サービスの拡充としてソフト面ばかりが重視され、便利にはなったが、本来、図書館が公共施設である意味が失われてきたように思う。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
248	分野別 政策16	「市民に身近な生涯学習の場」として、資料、情報の量で公民館に勝る図書館は必要不可欠なものである。自明ではあっても、図書館の項目には「生涯学習を支える」という文言を抜かさなideほしい。また、図書館サービスの拡充はありがたいが、それは、全ての市民の学習を生涯に渡って支えているという視点を抜かさなideほしい。	政策16の現状と課題において、図書館を「生涯学習の拠点の一つ」と位置付けています。
249	分野別 政策16	郷土資料の収集、保存、提供は、図書館の重要な役目である。「学術研究、教育、地域づくり活動等に広く活用されるよう取組を推進」するために、図書館、博物館、美術館、郷土資料館等の連携を図ることを盛り込んでほしい。	ご意見を踏まえて、「図書館、美術館等が連携しながら」という文言を施策①の6つ目の○の文章に追加します。
250	分野別 政策16	岡山市内の学校図書館を生かしていく施策が必要だと思う。学校に1人司書がいるというのは岡山市の教育面での素晴らしい所だと思うのでもっと生かしてほしい。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
251	分野別 政策16	成果指標について、市民一人当たりの年間貸出冊数は、平成14年度は6.5、平成15年度は6.6だった。その後減少したが、今回の目標数値としては、せめて6.5まで回復させることを目指してほしい。	図書館サービスの拡充を図る等により、目標値を少しでも超えることができるよう努めていきます。
252	分野別 政策16	現状と課題に「地域づくりの学習や地域の課題解決に向けた人材育成などを行ってきました」とあるが、育成した人材が実際に活躍できる場、活躍のためのコーディネートを行う機能について、より強化する方向性を打ち出すべきと考える。	ご意見については、学びの成果を地域課題の解決のために活用する仕組みづくりを進めていく過程で参考にさせていただきます。
253	分野別 政策16	岡山市では、設備の良い図書館や公民館の読書スペースが中高生の勉強スペースとして占拠されているのをよく見る。これは、学生の勉強スペースが館内に設けられていないからだと思う。他都市の様に語学学習設備もある専用スペースを館内に設けてはどうか。	施設に応じて快適な空間利用ができるよう、運用面での工夫に努めていきます。
254	分野別 政策16	生涯学習の場について、拠点となる地域の公民館の運営を地域の方にある程度お願いして職員人数を増やしてほしい。	ここでは、生涯学習に関する施策の方向性について記述しており、人員の配置についての記述は行いません。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
255	分野別	政策17	ESDに関するユネスコ世界会議開催の遺産がなくならないよう積極的な情報発信を行ってほしい。	引き続きフォーラム等の啓発イベントを実施するほか、「おみやまESDなび」サイトによる情報発信等に努めていきます。
256	分野別	政策17	多様な主体による協働の推進とともに、単働による協働の推進を図り、地域の美化に寄与するべき。岡山駅前、西川筋の美化だけが清掃ではない。	ボランティア袋や啓発グッズ等の配布、「まちづくり推進員制度」を通じた清掃用具の提供、環境衛生協議会や町内会等による町内清掃活動の支援などを通じて、地域の環境美化活動を推進するとともに、地域の美化を含めた社会課題の解決に、多様な主体が協働して取り組めるよう施策・事業を実施していきます。
		政策26		
257	分野別	政策17	地域の人達の力を集めて皆で福祉の向上を図るため、安全・安心ネットワークを中心に活動してほしい。	ご意見の趣旨は、政策22の施策③に記載しており、引き続き、安全・安心ネットワーク活動の支援を行うことにより、地域住民が安全で安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。
		政策22		
258	分野別	政策18	岡山市では、外国からの留学生、仕事や商売等で住んでいる外国人が増えているが、岡山の人とは外国人との交流・接触を避けようとするから残念だ。もっと積極的に外国人と交流すべきだと思う。	積極的な国際交流活動を進めるため、市民・関係団体・行政が一体となった国際交流事業を幅広く実施していきます。
259	分野別	政策18	施策②について、多文化支援は図書館の得意とするところである。図書館活動を通して異文化への理解、それぞれの母国語支援もできる。最も手軽に多様な文化に触れられる場が図書館であり、国際理解を深めるためには、町内会、公民館活動とともに図書館は欠かせない。是非ここに「図書館」を加えてほしい。	「町内会やPTA、公民館等」は、外国人市民の社会参加を促進する事業の主体として明記しており、資料提供を主体とする図書館の追加は不要と考えます。
260	分野別	政策19	施策②の平和の尊さを学ぶ機会の充実について、特に青少年が学べる機会を充実させるための具体的施策を要望する。	次の世代を主なターゲットに「岡山空襲展示室」を活用し、「岡山戦災の記録と写真展」等の平和祈念事業を通じて、平和の尊さを学ぶための情報発信を積極的に行うなどの取組を推進していきます。
261	分野別	政策19	戦跡の保存も行ってほしい。	岡山空襲で被災した建物等については、市内23か所に説明版を設置して保全に努めています。
262	分野別	政策20	高齢者でも安心して暮らせるまちをつかってほしい。	政策21の施策①に記載しているとおり、市民が高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めていきます。
		政策21		
		政策22		
263	分野別	政策20	生産年齢人口の減少が懸念され、国も一億総活躍社会の構築を進めていることから、元気な高齢者が活躍できる仕組みづくりを進めてほしい。	政策20の施策②に記載しているとおり、いきいきと活躍できる生涯現役社会づくりに向けて施策・事業を推進していきます。
264	分野別	政策20	生涯現役応援センターの認知度(利用度)は61人と低い。シルバー人材センター等との違いなど、センターの存在、位置づけを明記すべき。	生涯現役応援センターは、開設して1年が経過したところであり、登録者の増加に向けて周知啓発に取り組んでいるところです。総合計画は、市政を推進していく上で最も基本となる計画として、基本的な方針や施策の方向性を示しており、より具体的な内容については、個別計画等で明示していきたいと考えています。
265	分野別	政策20	生涯にわたり健康でいきいきとした生活を送るためには、老人が働ける社会、障害者が働ける社会の構築が行政の課題だと考える(定年60歳では市民は生活できない)。老人が働ける場所を行政指導で拡大すれば、賃金は低くても年金と合わせてなんとか生活できるため、生活保護も減少すると思う。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
266	分野別	政策20	定年退職や子育てを終えた元気な高齢者をもっと活用する施策があっても良いのではないかと。例えば、朝夕に小学校へ登下校する子どもを見守ってもらうなど。元気な高齢者を活用する施策を全学的に広げること、高齢者は子どもと触れ合うことでいきいきを、子どもたちや保護者は安心をそれぞれ得ることができ、地域の活性化、安全・安心につながると考える。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
267	分野別	政策20	高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、一人暮らしの人が孤独にならず、気楽に出かけていける場を提供するなど、先進都市を見習って介護予防に取り組んでほしい。	政策20の施策③に記載しているとおり、身近な地域での介護予防教室の開催や地域住民が介護予防に取り組む際の支援等を行い、介護予防を推進していきます。
268	分野別	政策20	介護予防だけでなく、重大な病気を患った人の衰弱防止にも手を貸してほしい。私自身、胃がんによる切除で筋力等の低下を感じるが、適切な増強施設(低料金)が無い。	市民の健康づくりや介護予防を進めるため、地域での健康教室や介護予防教室の開催等を実施しており、引き続き健康寿命の延伸に取り組んでいきます。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
269	分野別	政策20	住民の健康寿命を延ばし、重症化予防、要介護の減少のため、また子ども・妊産婦・アレルギーなど、感受性の高い方を含めた非喫煙者を受動喫煙の危害から守るため、受動喫煙対策を徹底してほしい。	政策20の主な事務事業に記載している「健康市民おかやま21(第2次)」の推進事業として、喫煙対策を引き続き進めていきます。
270	分野別	政策21	老々介護による生活難などが社会問題化している中であって、そうした介護負担が金銭的、労務的に軽減され、安定した介護をしながら社会生活が継続できるよう、具体的かつ実効性のある施策を出してほしい。	政策21の施策①に記載しているとおり、市民が高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めていきます。
271	分野別	政策21	高齢化が進む中、認知症カフェ等の相談ができる場が増えていくことはとても良いことだと感じる。存在を知られていないと場の意味が無いため、しっかり広報等を行い周知してほしい。	認知症カフェについては、委託実施している各カフェの開催日と内容について市ホームページに掲載してお知らせしており、今後も引き続き、市民の皆様への周知を図っていきます。
272	分野別	政策22	成果指標について、福祉施設から一般就労への移行者数はあるが、障害を有する方の市内企業就業者数等は指標としないのか。	障害福祉計画策定に係る国の指針では、社会参加や社会生活の向上のため、福祉施設から一般就労への移行者数が数値目標として設定されていることから、この国の指針を踏まえ、福祉施設から一般就労への移行者数を成果指標としました。 ご提案いただいた市内企業への就職も含め、障害者が能力や適性をいかした様々な働き方が選択できるよう、障害者就労支援施策を推進していきます。
273	分野別	政策22	倉敷市のように総合福祉センターのようなワンストップのものを作ってほしい。現在のように空地へ無計画に(特に利用者の利便性に配慮の無い)施設を作って、「車の有る者は自力で来い」と言われても、弱者には現地へ行くための手段に限られている。きちんとした施設が出来るまでは、区役所、ふれあいセンター、福祉文化会館等々の施設を回る低床バスのような手段を用意してほしい。	本市では、6つの福祉区に、福祉事務所、保健センター、地域包括支援センターを配置し、市社会福祉協議会等と連携を取りながら各種福祉サービスを提供しているところであり、今後も各施設が連携を図りながら市民ニーズに沿った福祉サービスの提供に努めていきます。
274	分野別	政策23	地震について疎い市民が多いため、大地震が来る前にもっと多くの市民に向けて何をすべきか指示してほしい。特に年配の方のためにも指針を発してもらいたい。	防災出前講座の実施、防災マニュアル・ハザードマップの配布等の啓発を行っており、今後さらに推進していきます。
275	分野別	政策23	災害対策の拠点として庁舎の耐震化は早急に行うべきではないか。特に多くの職員が勤務する本庁舎が急がれるところ。	本庁舎の耐震化については、早急な対応を必要とする学校園等の耐震化の進捗状況に加え、今後増大が予想される社会保障関係費や、他の市有施設の整備に多額の経費を要することなどを踏まえ、その時々々の財政状況等を慎重に見極める必要があると考えています。
276	分野別	政策23	災害対策の司令塔たるべき岡山市役所本庁舎の耐震化対策又は建て替えを早急に行うべきかと考える。	本庁舎の耐震化・建て替え等については、早急な対応を必要とする学校園等の耐震化の進捗状況に加え、今後増大が予想される社会保障関係費や、他の市有施設の整備に多額の経費を要することなどを踏まえ、その時々々の財政状況等を慎重に見極める必要があると考えています。
277	分野別	政策23	全国的にも水道管の老朽化が言われているため、整備が急がれる。また、近年のゲリラ豪雨に対応するための下水・排水整備も急がれる。	全国的な傾向と同様に、本市の水道管、水道施設についても老朽化が進んでいます。災害被害の軽減を図り、市民のライフラインを確保するために、政策23の施策④に記載しているとおり、水道管、水道施設の計画的な更新、耐震化を進めていきます。 また、総合的な浸水対策の推進については、政策23の施策①に施策展開の方向性を記載しています。
278	分野別	政策23 政策24	災害時に最も避難が困難な災害弱者(高齢者、障害者、傷病者、妊婦、乳幼児・子ども、外国人、旅行者)等への対応の記載がない。一方で、インバウンド拡大や観光・医療の充実、子育て支援を掲げるならば、これら災害弱者への配慮は不可欠である。この点は政策24も同様である。	高齢者、障害者、乳幼児等の要配慮者の支援を含めた「共助」の基盤強化を進めていくことを政策24の施策①に記載しています。 なお、災害時要支援者台帳に合わせて、小冊子「災害時の要配慮者を守りましょう」を配付しており、今後さらに啓発を進めていきます。
279	分野別	政策24	施策①の業務継続計画策定は、行政のBCPについて述べられたものなのか、公共機関・施設も含めて述べられたものなのか、民間企業にも関することなのか、記述が曖昧である。本来は企業のBCP(BCM)策定促進も必須の課題ではないかと考える。また、災害発生などの緊急時に備えた連携促進は、近隣エリア内だけでなく遠隔地の相手との連携も有効と考える。	ご意見を踏まえて、P113の主な事務事業の名称を「業務継続計画(BCP)の推進」から「岡山市業務継続計画(BCP)の推進」に変更します。 なお、民間企業のBCPについては、策定促進のための啓発を行っています。
280	分野別	政策24	岡山市は災害が少なく恵まれているからこそ防災に対する意識が低いと言われている。政策24を強力に推進してほしい。	防災に対する意識の高揚を図り、地域防災力を強化していくことを政策24の施策①に記載しています。いただいたご意見を参考にしつつ、今後も取組を進めていきます。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
281	分野別	政策24	ボランティアで日赤奉仕団に所属させてもらい、炊き出し訓練を受けたが、現実、避難指示が出た時は、とにかく自動(家族含む)を考え行動して、次に奉仕団として活動することを平素覚悟しておけばよいのか教えてほしい。	ご意見のとおりで問題ありません。防災出前講座等も行ってありますので、ぜひご利用ください。 また、個別にお問い合わせいただければ、詳しく回答いたします。(お問合せ先:危機管理室)
282	分野別	政策24	地域防災や防災・減災については挙げられているが、市外からの被災者の受入れ、被災地支援、ボランティア派遣の記述が全くなく、全国レベルからの連携・連帯の視点が欠けている。政令指定都市として岡山市さえよければ良いということではないと思う。併せて、岡山の誇りのAMDAや防災ボランティア活動を政策に位置づけるべきと考える。	全国レベルの連携については、21大都市相互応援に関する協定や指定都市市長会行動計画に基づいて行動しています。 災害ボランティア活動については、岡山市社会福祉協議会と協定を締結するなど、連携を図っています。
283	分野別	政策25	小学校児童の登下校の際の安全・防犯に対する施策も盛り込んでほしい。	施策①で地域防犯力の強化を挙げており、広い意味において小学校児童の登下校の安全・防犯につながる施策と考えています。
284	分野別	政策26	希少種の保護について、その必要性と保護することによる地域住民への影響とのバランスが難しいと思うので、よく調整しながら進めてほしい。	希少種の保護と地域住民への影響とのバランスについてはご意見のとおりであり、地域住民への丁寧な説明や調整を行った上で取り組んでいきたいと考えています。
285	分野別	政策26	路上喫煙について、区域内だけでなく、市内での歩きタバコの禁止の広報・啓発を検討してほしい。	路上喫煙制限区域外での路上喫煙は禁止されていませんが、「岡山市美しいまちづくり、快適なまちづくり条例」では、路上喫煙制限区域外での路上喫煙について、市民の責務として「路上喫煙に当たっては、他人の身体及び財産に影響又は被害を与えないように配慮すること」と定められており、この内容を踏まえた広報・啓発に努めていきます。
286	分野別	政策26	市内中心部でのごみのポイ捨て数や路上喫煙者数は減少傾向とあるが、周辺部でのポイ捨てや不法投棄は減少しているとは言えない状況だと感じる。周辺地域での環境美化施策を推進してほしい。また、犬の糞の後始末についてのマナー向上施策も進めてほしい。	本市では、市民、事業者による環境美化活動のため、ボランティア袋や啓発グッズ等の配布を実施しています。 また、地域の環境衛生協議会による地域清掃等の支援をしており、犬のフン持ち帰り、始末を啓発する看板・のぼりの配布を実施しています。
287	分野別	政策27	企業のCSR(社会的責任)への自覚を促す施策や、環境経営の促進、先進事例の情報発信なども盛り込んでほしい。また、環境経営が地域に新しい仕事を生み出し、新しいビジネスモデルを構築することも含めてほしい。	国民運動「COOL CHOICE」と連動し、様々な情報を発信することで、市民一人ひとりの意識の転換や醸成を図って行くことが必要と考えており、環境にやさしい市民生活や事業活動に向けた意識改革と実践に、市民や事業者と連携して取り組むことを施策②に記載しています。 また、環境負荷の低減や省エネルギー化等の地球温暖化防止に向けた投資効果は、地域経済への刺激や発展につながるものと考えています。
288	分野別	政策27	成果指標には、「エコアクション21」や「ISO14001」認定取得企業数なども加えてほしい。	環境負荷の低減や温暖化防止に向けた企業の自主的な活動は、非常に大切な取組と認識しています。 企業活動も市民一人ひとりの意識の醸成から行われるものと考えており、「環境にやさしいライフスタイルの実践度」を成果指標としています。
289	分野別	政策27	施策①、②ともに、各省庁が絡んでくる話であり、当然、市としても各局が絡んでくると思う。もう少し広い視野で考える必要があるのではないかと。	温室効果ガスの削減にあたっては、法律で自治体が率先して取り組むこととされており、本市においても全庁を挙げて取り組む課題であると考えています。
290	分野別	政策27	10年一昔とよく言うが、低炭素型交通体系を考えるにあたって、新技術を考慮しても、インフラコスト、ランニングコスト、導入効果、将来性の面で、10年以上前の技術で作られたLRTが次世代の軌道系交通システムとして一番なのだろうか。吉備線を複線電化した上での従来型電車による吉備線一山陽本線の循環運行や水素エネルギー発電、EVIによる吉備線自動運転バス化などを含め、10年以上前の技術の再検討が必要である。LRT採用検討に強引さを感じる。	吉備線のLRT化を検討する中で、鉄道の高度化、LRT、BRTを比較検討し、LRTを選択しています。 新技術については、今後、検討を進める中で、実現性の視点を踏まえて、積極的に取り入れたいと考えています。
291	分野別	政策27	施策の方向性に大いに賛同する。政策26、政策28とともに、現在の大量消費型社会のあり方の見直しについては、政策14の施策にも盛り込む必要があると思う。	国民運動「COOL CHOICE」の下、未来のために今できることを、市民一人ひとりが意識し行動できるよう、様々な情報発信を行うとともに、岡山ESDプロジェクトとも連携し、公民館や学校等で環境教育・学習活動を推進し、環境保全活動の輪を広げていくこととしており、政策26、政策27、政策28の施策の方向性にその趣旨を記載しています。
292	分野別	政策28	循環型社会の構築と経済的なごみ処理の広域化推進は必要だと思う。ただ、粗大ごみの廃棄について、高齢者は施設へ持ち込むのが難しい。1年に1~2回で良いので、少し高価になっても、有料札を付けたものを資源ごみのように地域の指定設置場所へ決められた日に出すことが出来たら非常にありがたい。	粗大ごみについては、収集手数料である処理券を貼り、自宅近くまで何う戸別収集を既に行っております。 また、特定の要件を満たす世帯の方については、家の中に入れて回収する「ふれあい収集」という制度もありますので、ご活用ください。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
293	分野別	政策29	現状と課題に記載されている内容はまさにそのとおりだと思う。我々がいくら声を大にして申し立てても無駄だと思う。何事も努力し実行していく事が大切だと思う。更に言うと、将来性のある大企業がないため、若人がどんどん県外に出ていく事も一つの原因であることは否めない。全国から羨ましがられるような岡山になることを祈念している。	本市では、大学卒業、就職を機に若者が県外へ転出する傾向があります。このため、若者の定着に向けて、地元の魅力ある中小企業の情報発信、大学等との連携による人材確保やUターン支援など、「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取組を総合的、計画的に進め、活力ある岡山の創出を目指すこととしています。
294	分野別	政策29	岡山市民として岡山市に納税しているの、周辺地域よりもまず岡山市のための行政運営をしてほしい。波及効果までは否定しないが、直接的効果は、まず岡山市を中心に考えてほしいと感じる。	いただいたご意見も参考にしつつ、周辺市町と連携を図りながら各種施策・事業に取り組んでいきます。
295	分野別	政策29	政令指定都市から、より権限と予算を持つ「特別自治市」への移行を推進することは、岡山市にとって重要であると考えているが、そうした動きを市民レベルで情報共有できているとは思えない。より市民へ周知を図ることに力を注いでほしい。	いただいたご意見を参考に、情報発信、市民への周知についても検討していきます。
296	分野別	政策29	県内から岡山市への人口流入が多く、人口の一極化が起きているのではと感じる。このような場合、他市町村とどのように連携をとるのか等が気になる。	平成29年3月に策定を予定している「岡山連携中枢都市圏ビジョン」において、本市を中心とする8市5町が連携し、圏域経済の活性化を図るとともに、安定した住民サービスを提供し、地域の活力を維持していくことができるよう取り組むこととしています。
297	分野別	政策29	人口流出に歯止めをかけ、地域に優れた人材を確保するためにも、若い世代に、地元の中小企業にもユニークな仕事や高い収益性を維持している会社が数多く存在していることを伝え、生涯にわたって全人格的な成長が期待できる職場として県内・市内の中小企業の魅力を積極的に伝える施策を盛り込んでほしい。	市内中小企業による合同企業説明会や就業体験事業、中小企業の情報を掘り起こし若者に提供する事業をはじめ、中高生等のより若い世代に中小企業を紹介する事業等を実施することで、積極的な魅力発信に取り組んでいきます。
298	分野別	政策29	地方創生のためには、地域の中小企業・小規模事業者の持続的発展が欠かせない。大企業に依存しない中小企業の自立と成長こそ地域の多様性と雇用を保证するものとする。補助金や助成金などに頼らない、本当の意味での中小企業の強靱な経営体質の実現と経営力強化を促す施策を期待している。また、その一環として、行政は、市内で開発・製造された新製品・新商品の試作品などを優先的に登用し、完成度を練り上げていく「トライアル発注制度」のような施策の検討や、神奈川県「いのち貢献度指名競争入札」のように、住民の命を守るために真面目に努力し、優良工事施工・次世代技術者の教育などに注力している企業（建設・土木・設備業など）を励ます政策の実施をお願いしたい。	市内企業のほとんどを占める中小企業は、地域の雇用の場であり、地域社会にとって重要な存在であると考えており、中小企業・小規模企業の支援事業について、ご提案いただいた「トライアル発注制度」や「いのち貢献度指名競争入札」等の他都市の事例も参考にしながら、一層取り組んでいきます。
299	分野別	政策30	今後、少子高齢化の進行が確実とのことだが、労働人口の大幅減少における税収の低下、財政の貧窮への対策は何か行っているのか。	少子高齢化による社会保障関係給付の増加、地域経済を支える生産年齢人口の減少は、本市の財政運営にとって大きな懸念材料であり、将来にわたって安定した社会保障施策を実施していくためには、健全な財政運営を行っていく必要があります。そのためには、事業の選択と集中を図るとともに、社会保障関係経費の抑制策や行財政改革によるムダの排除、歳入確保策や有利な財源の活用等を行い、必要な財源を捻出していく必要があります。こうした取組により、将来世代に負担を先送りすることなく、財源調整のための基金残高を一定程度保ちながら、財政運営の健全性を確保した上で、市民福祉の向上と活力ある都市づくりを進めていきます。
300	分野別	政策30	岡山県と鳥取県を比べると、面積や工業地帯、農業等の生産力は岡山県が大きいのに、鳥取銀行の株が1,900円以上に対して、中国銀行は1,500円程度である。どこに問題があるのかを比較して、財政再建上でも検討する必要があると考える。	地域経済の活性化は市税収入に大きな影響があることから、財政運営においても重要な課題であると考えています。
301	分野別	政策30	施策④の主な事務事業「職員のワークライフバランスの推進」に、職員の士気や業務効率を高めるため、仕事と家事、子育て、介護等が両立できる職場づくりや、業務改善等の働き方改革の推進、とあるが、「ゆとり世代」の私は「ライフ」を大切にしたい。生活していく上で仕事は重要だと思うが、家事や育児を優先したい。ぜひ、「ライフ・ワーク・バランス」と、岡山市では「ライフ」を優先していることを表現してほしい。	仕事と家事・育児等は、どちらも重要であり、その両立を図っていくことが必要と考えています。取組の名称については、現在、広く使用されている「ワーク・ライフ・バランス」を使用したいと考えています。
302	分野別	政策30	施策④について、通り一辺倒の事しか書いておらず、職員の意識改革の事が書かれていない。「うちではない」といって、他課、他局に振りまわす気質は、昭和の時代から変わっていない。職員の意識改革の姿勢を書くだけでも必要と思う。	質の高い市民サービスを提供していくためには、職員の意識の向上が必要と考えています。そのため、施策④の主な事務事業に「人材育成による職員の資質向上」を掲げ、職員の資質や意識・意欲の向上に取り組んでいきたいと考えています。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
303	分野別	政策30	多様な雇用形態をやめ、非正規職員を増やすのではなく、正規職員を採用し責任ある市政運営を行ってほしい。特に、専門職は技術や経験の継承のためにも正規の公務員を採用すること。	高度化する行政課題への対応や市民サービスの維持向上のため、必要に応じて、再任用職員や任期付職員等の雇用形態の活用も図っていきたく考えています。また、技術の伝承は重要であり、計画的な職員の採用に取り組んでいきたく考えています。
区別計画（意見項目数：27）				
304	区別	全区	各区、区づくりの将来目標と重視すべき視点を挙げているが、各区にこれを進める具体的な事業がないように思われる。各区独自の企画立案による区づくりが進んでいないのではないかと（例えば北区では、「まちなかの魅力と賑わいを高め、周辺地域の多様な資源を活かし発信する」とあるが、誰に対してどのように発信するのか不明である）。	区別計画では、区ごとに「区づくりの将来目標」や「区づくりの重視すべき視点」とともに、重点的に推進すべき施策や市民生活に密着した施策を抽出し、具体的な事務事業を念頭に置いて施策展開の方向性を示しています。ご意見も参考に計画に記載した内容を着実に実施していきます。
305	区別	全区	区別計画をつくる意味があるのか疑問である。そもそも区別に政策を実施していないのではないかと。課題を挙げればよいというものではないのではないかと。	区別計画は、区に特徴的な課題に対応し、区の特性をいかしたまちづくりを市民との協働により進めていくために策定するものであり、区ごとに現状と課題を整理した上で、「区づくりの将来目標」を定め、区で重点的に推進すべき施策や市民生活に密着した施策を示しています。
306	区別	全区	総論の「基本的な枠組み」の中に、分野別計画と区別計画についての説明があるが、全体を通読すると優先順位が曖昧な印象を受ける。区別の現状と課題を分析することには大いに賛同するが、それぞれの現状と課題が、必ずしも施策展開の方向性に反映されていないように思う。例えば北区では、第3次産業が約8割を占めていること、農業の後継者不足、商店街の空き店舗増加が深刻であることなどが挙げられているが、施策展開の方向性では、第3次産業の活性化について具体的な記述がない。商店街活性化についての記述がその内実であると仮定しても、「集客イベント等の活性化」という記載があるだけである。ここではむしろ、その「集客イベント等の活性化」のために必要な施策を示してほしい。	区別計画では、各区において重点的に推進すべき施策や市民生活に密着した施策を抽出して、施策展開の方向性を示しており、具体的な取組の内容については、分野別計画における当該分野の政策の中で示しています。
307	区別	北区	歴史・文化・伝統の中に岡山市が誇る児童文学作家の坪田譲治先生の文言も入れてほしい。	坪田譲治の功績は、市全体で共有し顕彰していくべきものであると考えており、分野別計画の政策9の主な事務事業において「坪田譲治文学賞」を記載しています。
308	区別	北区	地域資源の公共施設の欄に図書館が入っていないので追加してほしい。	本市には多数の公共施設があるため、主に、各区で特色のある施設や各区の地域特性に関係の深い施設を記載しています。
309	区別	北区	北区は、中心部から中山間地域まで多様であり、それぞれの地域が特色を生かしながら連携して高齢社会を生き抜いていかなければならない。その上で、高齢による交通弱者の問題は切実な問題であり、今後は生活バスの運行が更に必要となる。便利な交通手段として少しでも生活バスが利用しやすくなるよう運行時間を地域の高齢者のニーズに合わせつつ継続してほしい。	長期構想の都市づくりの基本方向2に生活交通確保の重要性を位置付けており、重点的に取り組むべき課題として分野別計画の政策6に記載しています。また、北区の区別計画においても「まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上」を施策展開の方向性の一つとして記載しています。
310	区別	北区	様々な文化資源が北区の中心部に集中し、西の端で暮らしていると文化格差を日々感じている。視点2に掲げる利便性の高い公共交通ネットワークの推進を望む。	現在進めている新たな総合交通計画の検討の中で、公共交通の利便性向上に資する取組について、学識者や市民、交通事業者等と議論していきたいと考えています。
311	区別	北区	北区西部地区（中央・幸町図書館まで行きにくい地区）の図書館整備をお願いしたい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
312	区別	北区	「図書館サービスの拡充」は書かれているが、吉備地区には図書館がない。公民館がある程度はカバーしてくれているが、とても、地域の教育、文化の中心等の場所になっていない。図書館の設置、司書の配置等を具体的に進める記述を加えてほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
313	区別	北区、東区、南区	公民館建設事業は記載があるが、図書館建設がないのは社会教育の見地から見て不十分であるが、中区以外には図書館の記述がないため、北区、東区、南区についても図書館の記述を加えてほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
314	区別	北区	自分たちの住んでいる北長瀬辺りは最近どんどん開発が進んでいる。北長瀬駅周辺も市民病院が移転し賑やかになってきているが、将来どうなっていくのか。そういったことについて北区の区別計画の中では具体的に書けないのか。	JR北長瀬駅周辺については、新たな拠点として全市的な視点で整備を進めていくべきものと考えており、分野別計画の政策5の施策①に方向性を記載しています。
315	区別	北区	視点1に関して、中心部の賑わいを取り戻すには、商店街に魅力ある店舗がたくさんあることが大事だと思う。	商店街の魅力向上に向けて、商店街振興施策を推進していきます。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
316	区別	北区	中心部は単身用のマンションが増えているため、単身の若者は増えると思うが、地域コミュニティは弱体化していく。子育て特区のようなことをやって、赤ちゃんから高校生くらいまでの子どもがいる子育て世代に有利な施策をお願いしたい。特色ある保育園や小中学校、スポーツのできる公園など、子育て世代が住みたくなるものを考えてほしい。	ご意見については、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
317	区別	北区	住みやすさという点について、買い物や健康維持のため、例えば小さなふれあいセンターを整備するなど、高齢者に配慮してほしい。	分野別計画の政策21に記載しているとおり、市民が高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を進めていきます。
318	区別	北区	街を大きく見れば、西川緑道公園のような緑を面でも広げていければ理想だと思う。	まちなかの緑は、身近に自然とふれあい、うるおいとやすらぎを実感することのできる貴重な空間と考えており、まちなかの緑化を推進していきます。
319	区別	中区	現状と課題の<土地利用>に、「図書館整備用地が未活用」とあるが、市民は望んでいるのに活用してもらえない。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
320	区別	中区	現状と課題の<土地利用>の項に、図書館整備用地の未活用が課題とあるが、施策展開の方向性の中に図書館建設についての記載がない。また、方向性3や方向性4においても図書館の機能が十分に発揮されるため、現状と課題の<土地利用>に「あらゆる世代の人が利用でき、地域の歴史の資料を蓄積し保存できる直営の図書館を整備する」と書き加えてほしい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
321	区別	中区	現状と課題の<土地利用>に、「図書館整備用地の未活用」が挙げられているが、これに対する施策展開の方向性が読み取れない。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
322	区別	中区	図書館用地があり、また、市議会で採択されているにもかかわらず建設が進んでいない。地区の皆が首を長くして建設を待ち望んでいる。若者の活字離れ、年寄りの孤立化を防ぐためにも、皆で集えるような図書館をぜひ建設してもらいたい。	図書館の整備については、重要な課題として認識していますが、現在、様々なご意見をいただいているところであり、本計画に現段階で盛り込むには、議論が熟しておりません。
323	区別	東区	東区は人口が減少しており、また、大雨に弱い地帯とのイメージがあるため、何か盤石な施設の整備が必要だと思う。	浸水対策については、東区の区別計画の施策展開の方向性6に示しており、その具体的な取組の内容については、分野別計画の政策23に記載しています。
324	区別	東区	方向性11に、「地域の歴史資産の由来等を記した看板の設置等を進め…」とあるが、既存の看板等は既に各地に設置されている。既存の看板を新規に規格統一した看板等へ更新していくということか。まちへ来るすべての方へ分かりやすい環境づくりとなることを期待する。	統一したデザインの歴史案内看板を設置し、埋もれた歴史・文化資産の由来等をゆかりの地に表示することにより、市民や来訪者が歴史・文化に親しみ、楽しむことのできる環境づくりを進めていきたいと考えています。また、既存の看板については、老朽化等で作り変えが必要になった際に、統一した規格により更新していくことにより、まちへ来るすべての方にとって分かりやすい環境づくりにつながっていくものと考えています。
325	区別	南区	南区には中央卸売市場があるが、同じ岡山市出身の友人で行ったことが無いという人も。新鮮な魚が食べられる中央卸売市場も売り出していくべきだと思う。	ご意見については、市場のPRに関する今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
326	区別	南区	南区は4区の中で軌道系公共交通が最も乏しい環境にあり、そのため、自家用車の利用割合が高くなっていると思う。都心へのアクセス向上のため幹線道路の整備を早急に進めてもらいたい。	南区管内の幹線道路については、市道藤田浦安南町線（外環状線）や県道岡山児島線等の整備を進めているところです。
327	区別	南区	「公共交通の利便性向上のため、バスのわかりやすい案内情報の整備…」とあるが、地域住民からすれば、定時性と停留所の環境がバスの課題と考えているため、バス事業者と連携して改善をお願いしたい。	定時性の確保や停留所の利用環境の向上など、バスの利便性向上策については、条件が整い次第、バス事業者と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。
328	区別	南区	軌道系公共交通の整備は、臨港鉄道廃止の経費や費用面を考えると実現性は乏しいかもしれないが、地域住民の高齢化や都心アクセス向上の面でぜひ検討してもらいたい。	今後の公共交通ネットワークについては、現在進めている新たな総合交通計画の検討の中で、市民の皆様と議論していきたいと考えています。
329	区別	南区	方向性5にある交通利便性の向上や生活交通の確保は重要である。児島半島は県道が1本しかないため、人の往来のためにも幹線道路として整備を進めてもらいたい。	児島半島には県道岡山玉野線や県道倉敷飽浦線などの主要地方道がありますが、現在、県道倉敷飽浦線の幅員が狭小で見通しの悪い区間において、拡幅整備を進めているところです。

No	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
330	区別	南区	南区では、住宅や工場、流通センター的なものの建設が行われているが、今後30年以内に南海トラフ地震が発生すると予想されており、液状化が懸念されるため、必要な対策を講じるべき。	液状化ハザードマップを配布するなど、啓発を推進していきます。
その他（意見項目数:2）				
331		その他	市民の協力を得るためにも、市民説明会を開催するのは良いことだと思う。	様々な機会を活用して、本計画の内容を市民の皆様に周知・PRしていきます。
332		その他	計画策定後は、市民にわかりやすくPRしてほしい。	様々な機会を活用して、本計画の内容を市民の皆様に周知・PRしていきます。